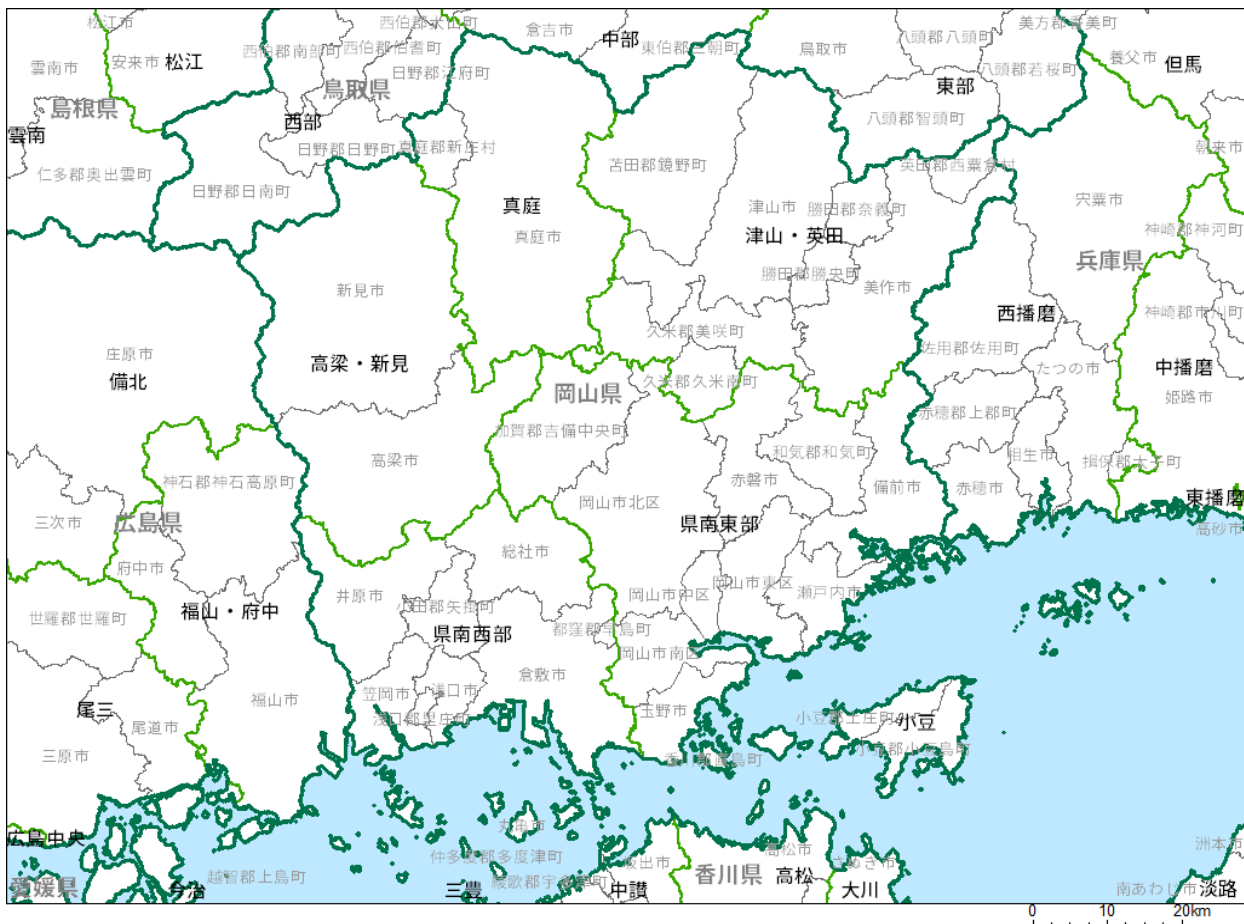


33. 岡山県



33.岡山県

目次

岡山県	33	-	4
1. 県南東部医療圏	33	-	10
2. 県南西部医療圏	33	-	16
3. 高梁・新見医療圏	33	-	22
4. 真庭医療圏	33	-	28
5. 津山・英田医療圏	33	-	34

本書の見方

・「偏差値」について

各医療圏の人口当たり医療資源量の相対的な位置づけを知るために、偏差値を用いている。偏差値の計算方法は以下の通り。図表では偏差値の高低をセルの色分けで表示。

$$\text{偏差値} = 50 + 10 \times \frac{(\text{A医療圏のBの値}) - (\text{Bの全国平均値})}{(\text{Bの標準偏差})}$$

※全国平均とA医療圏のBという指標の値が一致すると偏差値が50になるよう、あえて344医療圏の平均でなく、全国平均値を用いて計算している。正確に計算した偏差値とはやや異なるが、指標が全国平均値と一致すると偏差値は50となり、その地域の指標が全国平均より高いか低いかを判断しやすい。

偏差値	65以上	55～65	45～55	35～45	35未満
セルの色					

・出所情報

図表1	人口、65歳以上人口、75歳以上人口(2015年)、高齢者世帯	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
図表2	要介護者数、要介護3以上人数	平成28年度介護保険事業状況報告(年報)
図表5、6	人口の推移	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月及び日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 を基に各年1月の推計値を算出
	需要の推移	必要なベッド数=(65～74歳人口)×(65～74歳の高齢者施設利用率)+(75～84歳人口)×(75～84歳の高齢者施設利用率)+(85歳以上人口)×(85歳以上の高齢者施設利用率)として算出
図表7	総高齢者施設・住宅定員数	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計
図表7	介護保険施設定員(病床)数	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計
図表7	高齢者住宅定員数	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住(特定施設)の合計
図表8	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表9	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム	
図表10	サ高住(特定施設)、サ高住(非特定施設)	平成30年6月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表11	介護職員数(介護施設等)、看護師数(施設)	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表14	在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月
図表15	回復期病床数	平成29年度病床機能報告 平成29年7月
図表15	地域包括ケア病床数	平成30年5月地方厚生局
図表17	訪問介護、訪問看護、通所介護、通所リハ、訪問入浴、短期入所、居宅介護支援	平成30年6月 介護サービス情報公表システムに基づいて株式会社ウェルネスが市区町村別に集計したもの

都道府県別の地図および医療圏別の図表13、図表16の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1666号)

岡山県

■ 人口動態と要介護者の現状

岡山県は、人口1,921,525人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は551,168人、高齢化率(65歳以上人口割合)は29%とやや高い。

要介護数(認定者)は82,111人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は38,868人、要介護者に占める割合は47%とやや低い。

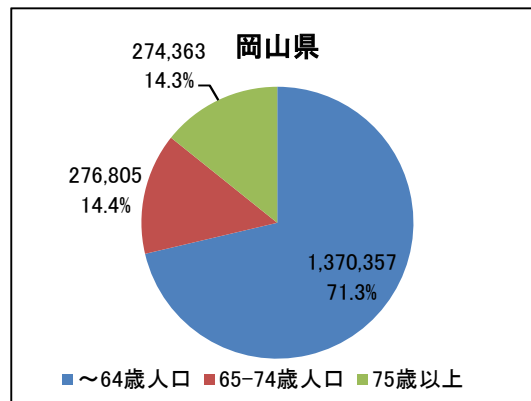
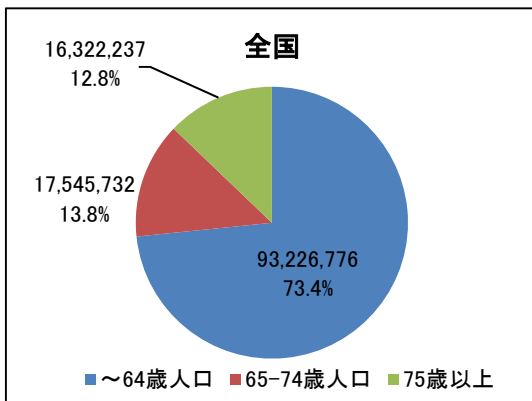
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
岡山県	1,921,525	551,168	274,363	29%	54	265,741	37%	32%

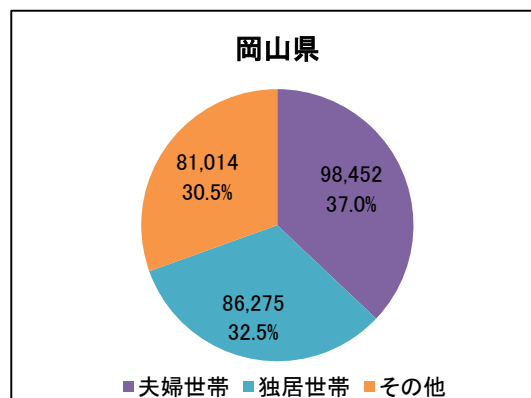
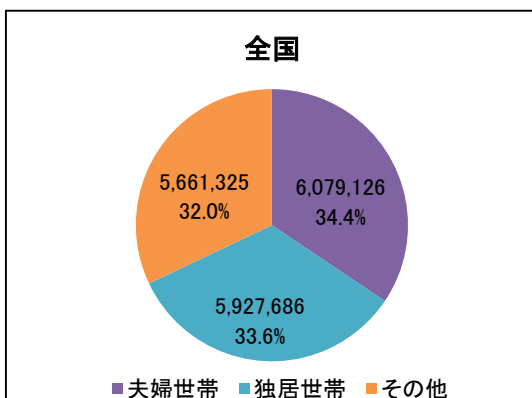
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
岡山県	82,111	15%	58	38,868	47%	47

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



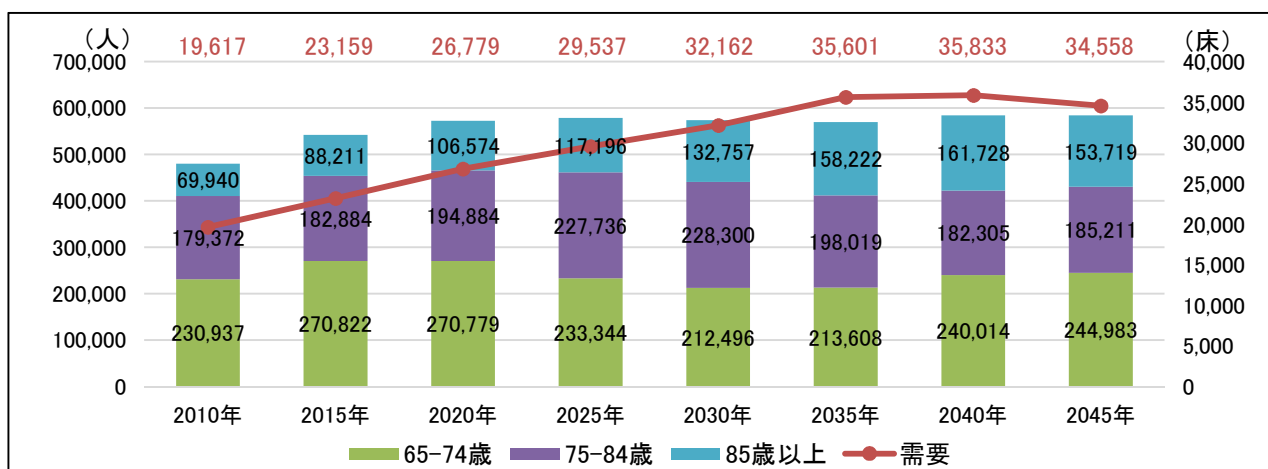
岡山県

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、岡山県の65歳以上人口のピークは2040年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が271,095(182,884+88,211)人であるが、ピーク時の2030年には361,057人まで増加すると推計され、2015年比33%増加する。

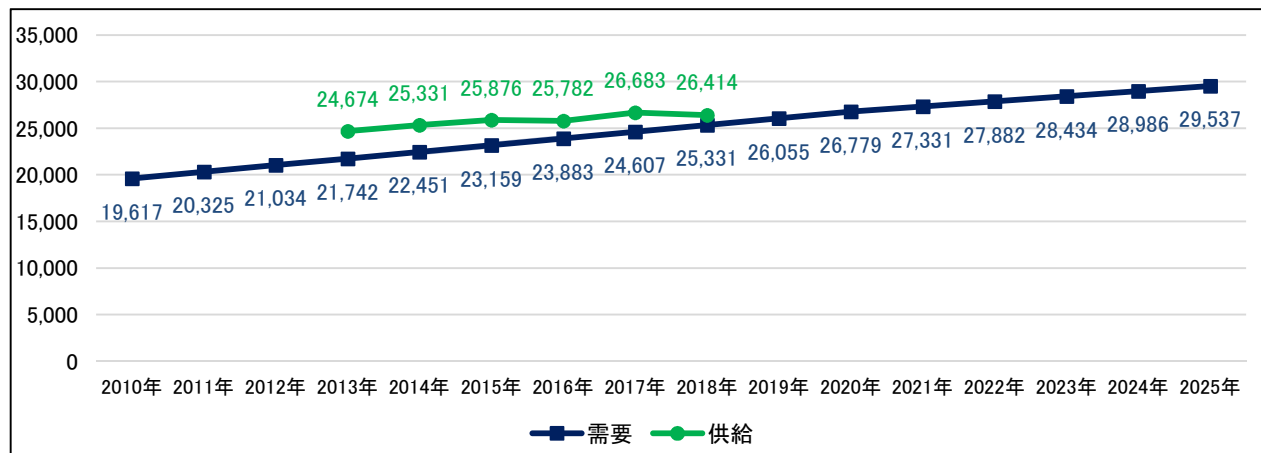
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、岡山県の施設需要のピークは2040年の35,833人であり、2015年の23,159人と比べ、55%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、岡山県の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要22,451人、供給25,331人と「供給>需要(+13%)」である。2018年は需要25,331人、供給26,414人と「供給>需要(+4%)」である。岡山県の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年のやや余裕がある状況から、2018年の需要と供給が拮抗する状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



岡山県

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、27,788人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が18,078床(偏差値54)、高齢者住宅等が9,710床(偏差値55)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム49、軽費ホーム60、グループホーム61、サ高住(特定施設)45である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値64と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値54と全国平均レベルをやや上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
岡山県	27,788	1.9%	101	57	18,078	1.8%	66	54	9,710	2.0%	35	55

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
岡山県	6,571	1.8%	24	53	10,886	1.9%	40	54	621	1.0%	2.3	46

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
岡山県	3,556	1.5%	13.0	49	946	4.1%	3.4	60	5,061	2.5%	18.4	61

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

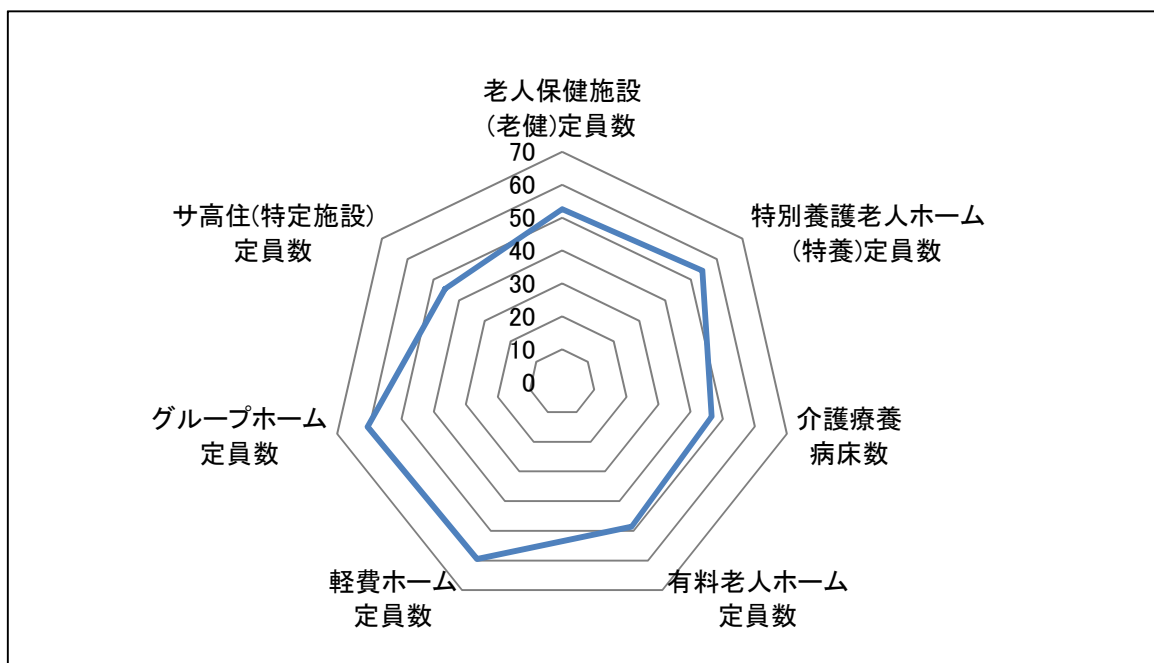
二次医療圏	サ高住(特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
岡山県	147	0.7%	0.5	45	209,785		12.9	(6.8)
					3,174	1.5%	11.6	48

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

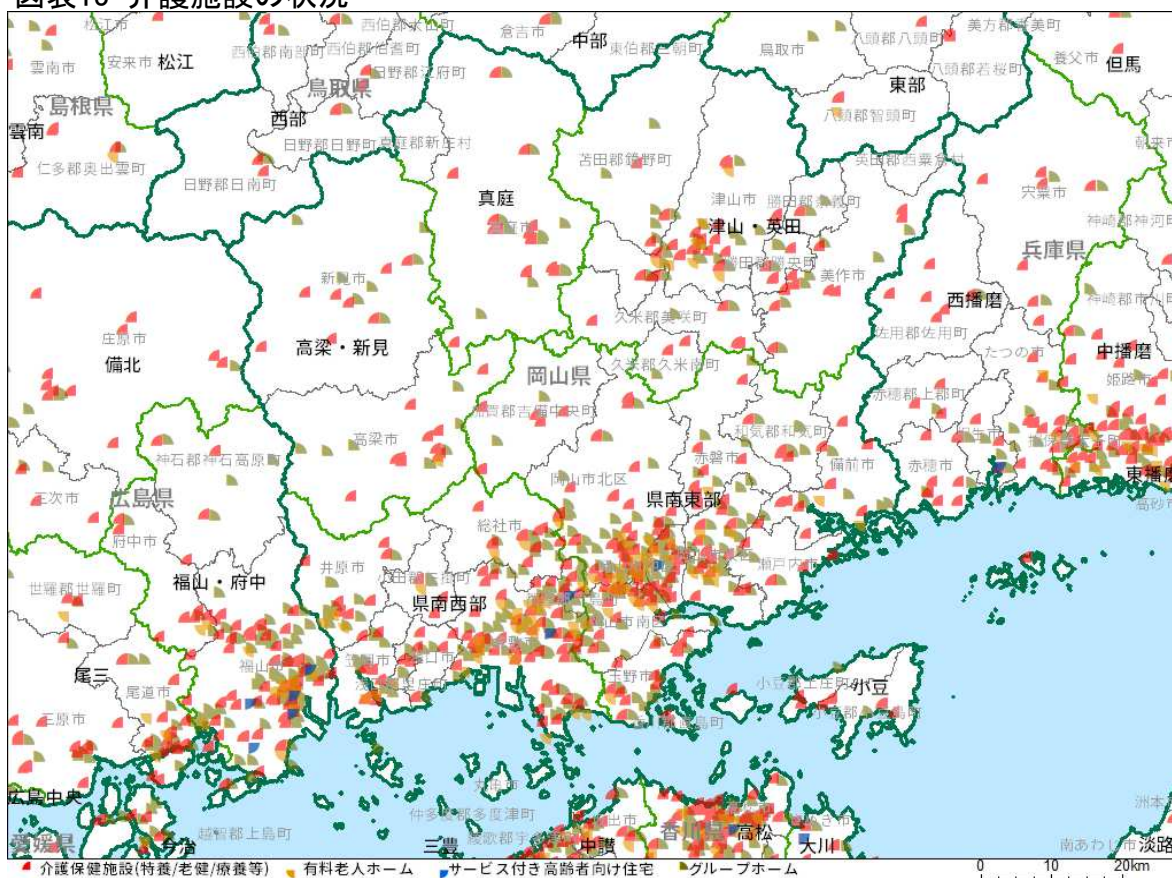
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
岡山県	25,787	2.0%	94	64	2,260	1.9%	8.2	54

岡山県

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



岡山県

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値58と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値56と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値51と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値58と多い。

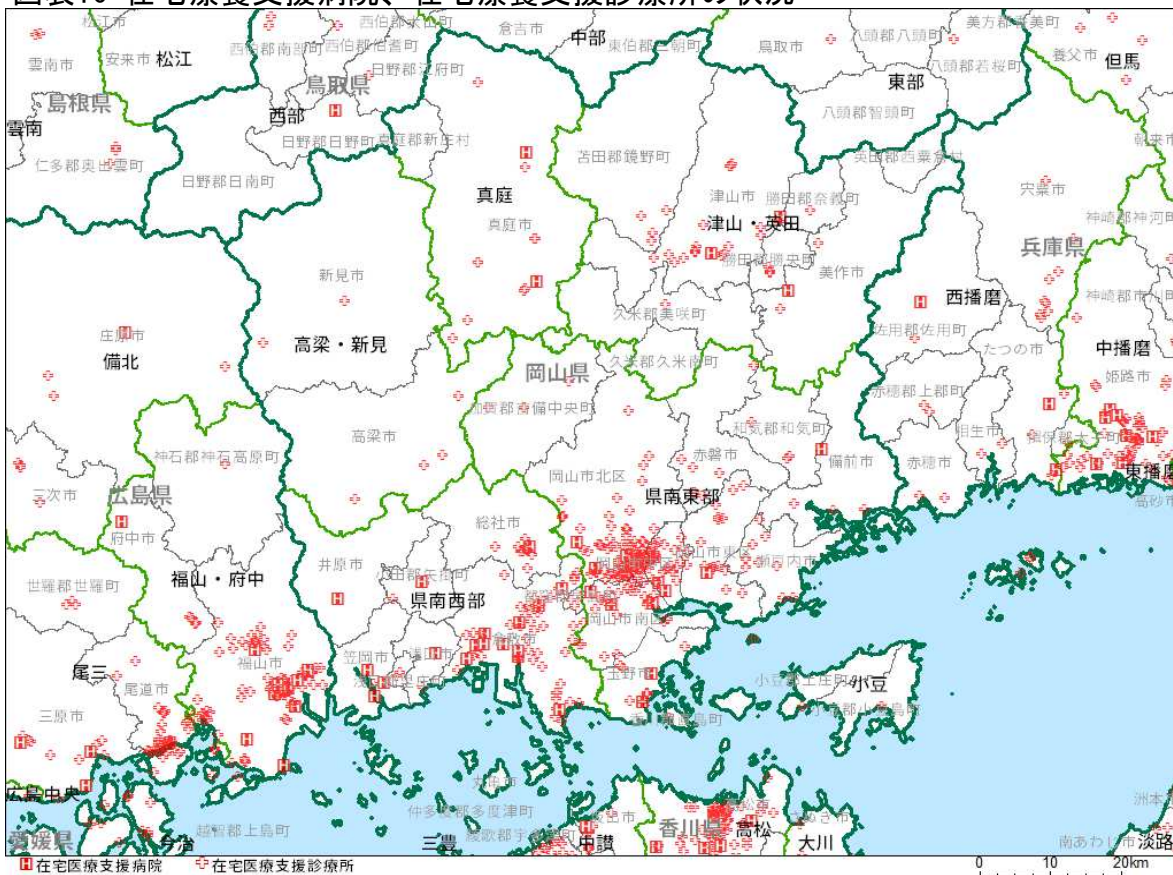
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
岡山県	38	2.7%	0.1	58	308	2.2%	1.1	56

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
岡山県	1,306	1.6%	68.0	51	2,032	2.7%	105.7	58

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



岡山県

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値44と少なく、訪問看護が偏差値45とやや少なく、通所介護が偏差値55とやや多い。通所リハが偏差値57と多く、訪問入浴が偏差値44と少なく、短期入所が偏差値56と多く、居宅介護支援が偏差値46とやや少ない。訪問介護利用者数は偏差値42と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値42と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値45と全国平均レベルをやや下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
岡山県	446	1.3%	1.6	44	157	1.4%	0.6	45	885	2.0%	3.2	55

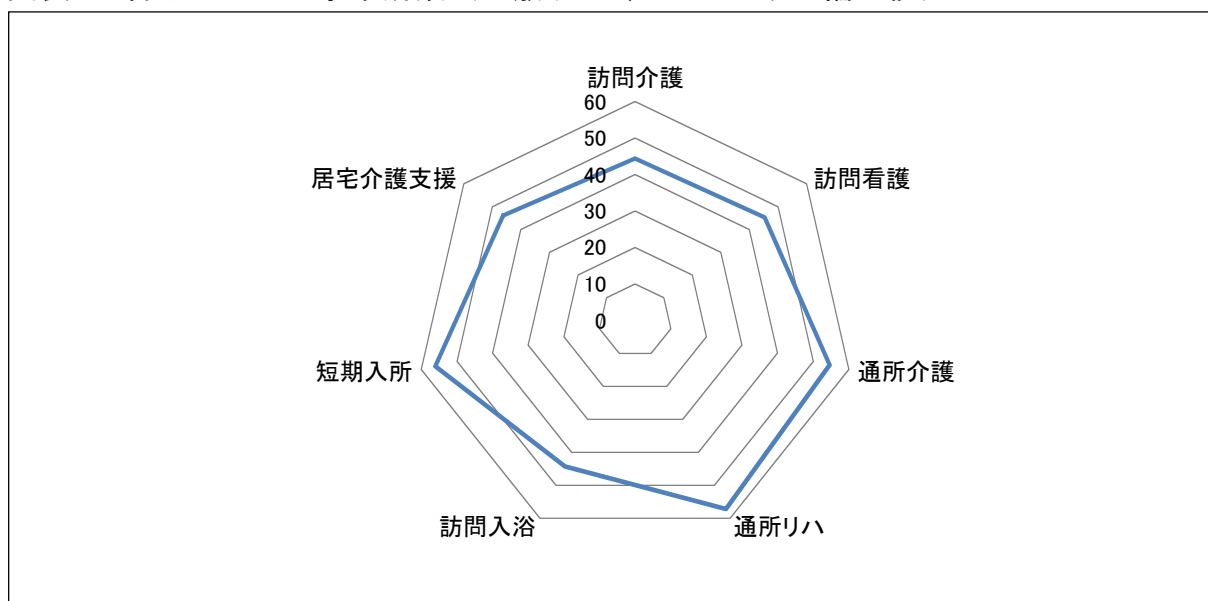
二次医療圏	通所リハ	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
岡山県	169	2.2%	0.6	57	18	0.9%	0.1	44	219	2.1%	0.8	56

二次医療圏	居宅介護支援	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
岡山県	624	1.5%	2.3	46

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(訪問)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
岡山県	14,541	1.2%	53.0	42	2,480	1.1%	9.0	42	712	1.4%	2.6	45

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



県南東部

■ 人口動態と要介護者の現状

県南東部は、人口921,940人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は248,495人、高齢化率(65歳以上人口割合)は27%と全国平均レベルである。

要介護数(認定者)は37,022人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は17,142人、要介護者数に占める割合は46%と低い。

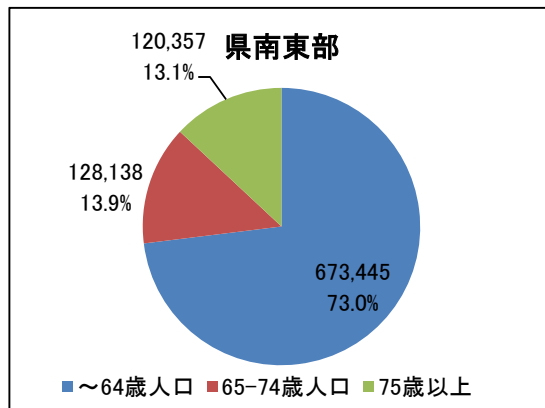
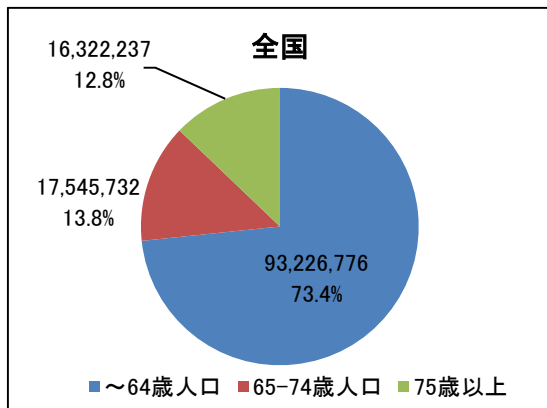
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
県南東部	921,940	248,495	120,357	27%	51	126,210	37%	34%

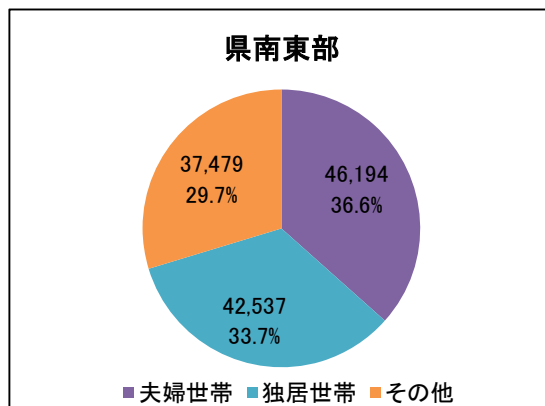
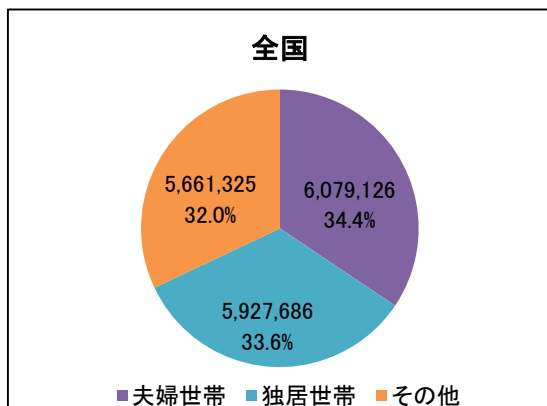
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
県南東部	37,022	15%	58	17,142	46%	44

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



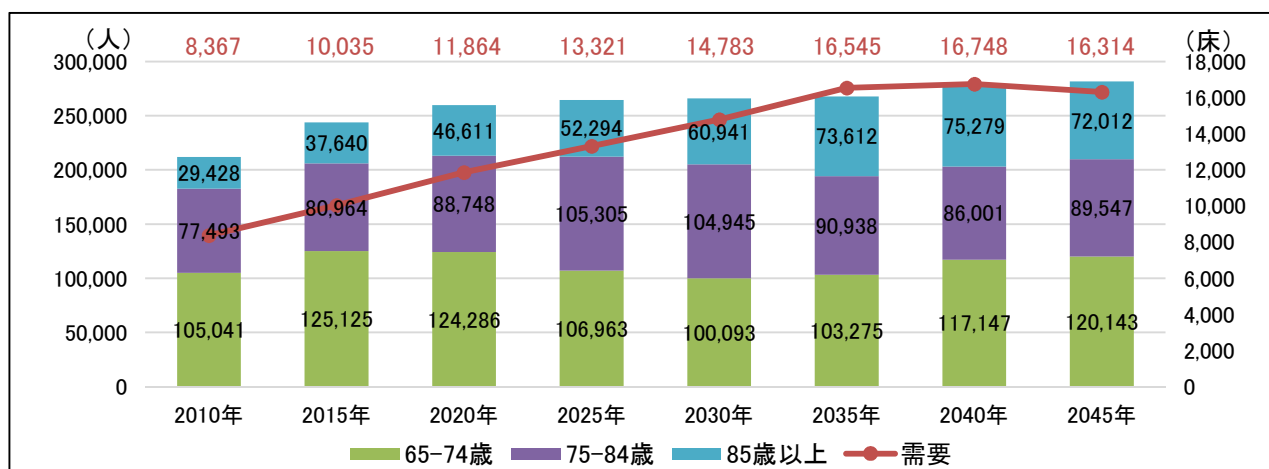
県南東部

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、県南東部の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が118,604(80,964+37,640)人であるが、ピーク時の2030年には165,886人まで増加すると推計され、2015年比40%増加する。

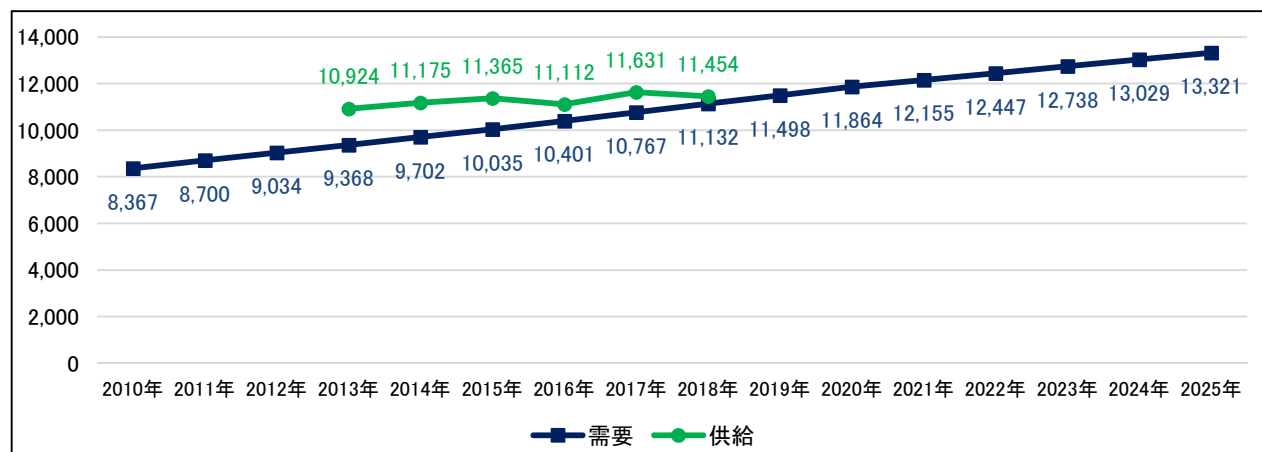
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、県南東部の施設需要のピークは2040年の16,748人であり、2015年の10,035人と比べ、67%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、県南東部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要9,702人、供給11,175人と「供給>需要(+15%)」である。2018年は需要11,132人、供給11,454人と「供給>需要(+3%)」である。県南東部の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の余裕のある状況から、2018年の需要と供給が拮抗する状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



県南東部

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12,261人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が7,867床(偏差値53)、高齢者住宅等が4,394床(偏差値55)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム50、軽費ホーム61、グループホーム60、サ高住(特定施設)45である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値66と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値52と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
県南東部	12,261	44.1%	102	57	7,867	43.5%	65	53	4,394	45.3%	37	55

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
県南東部	2,935	44.7%	24	53	4,828	44.4%	40	55	104	16.7%	0.9	43

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
県南東部	1,694	47.6%	14.1	50	453	47.9%	3.8	61	2,202	43.5%	18.3	60

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

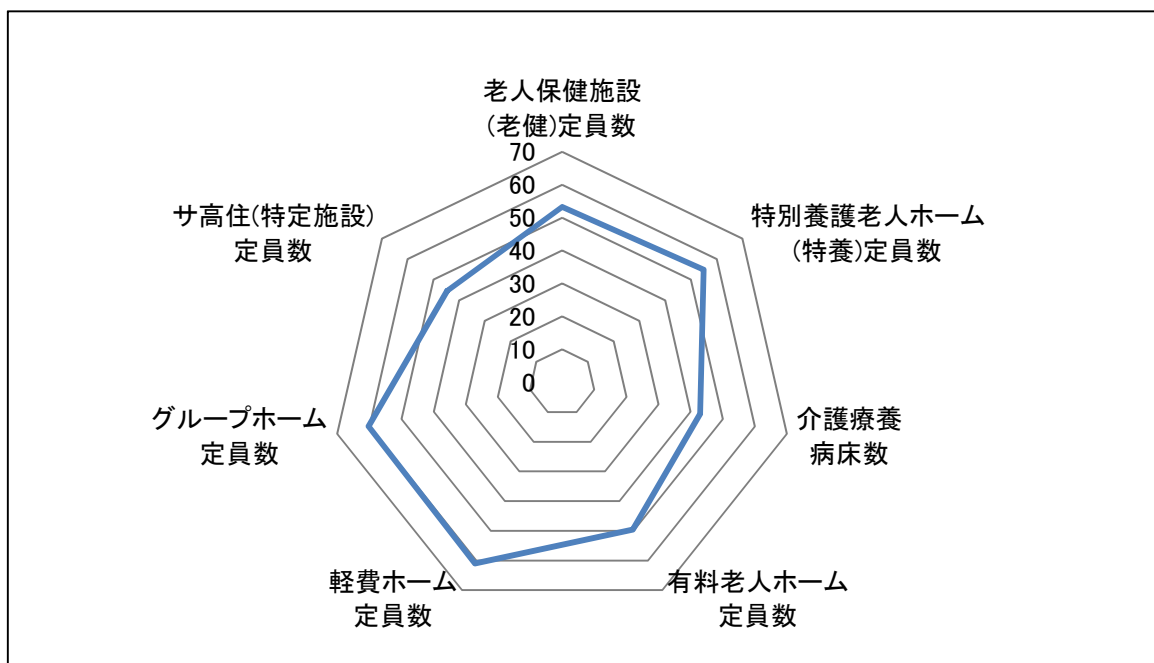
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
					サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
県南東部	45	30.6%	0.4	45	2,066	65.1%	17.2	56

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

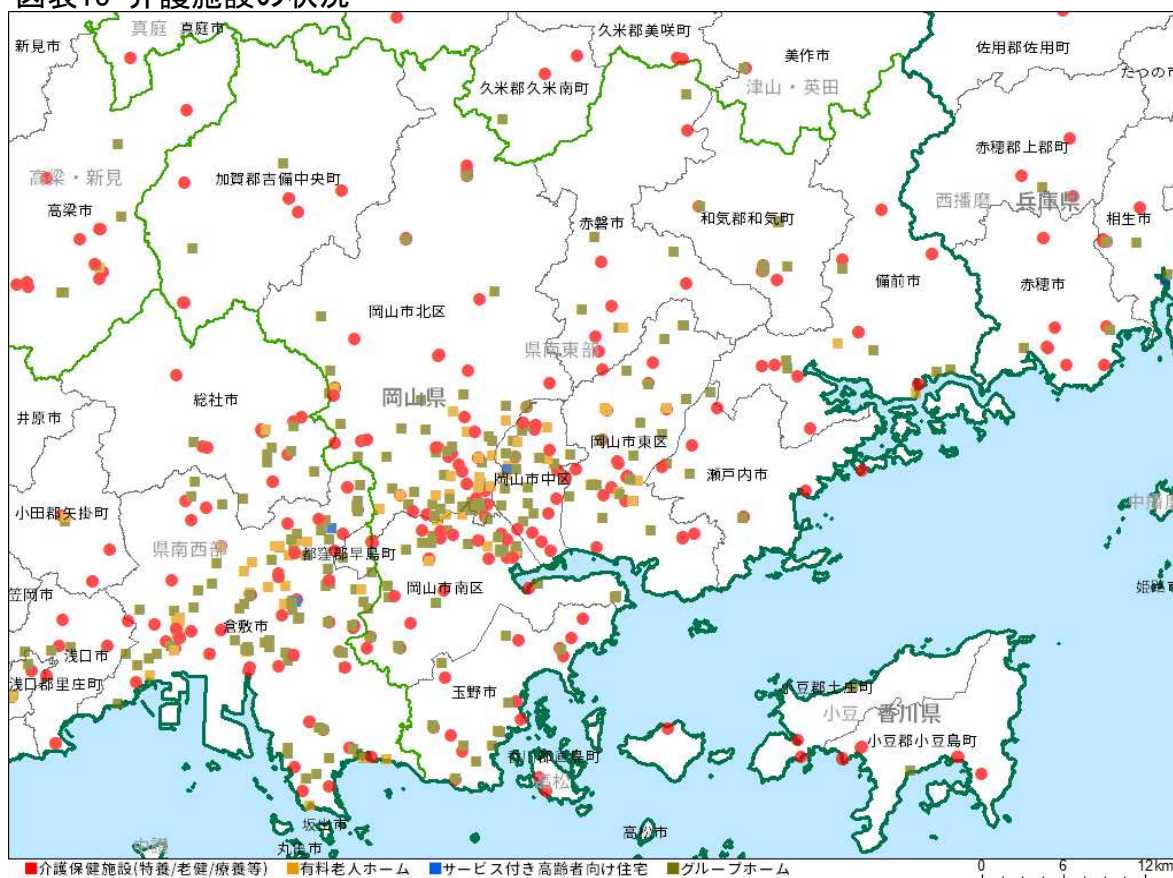
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
県南東部	11,646	45.2%	97	66	934	41.3%	7.8	52

県南東部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



県南東部

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値56と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値66と非常に多い。

人口当たり回復期病床は偏差値50と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値57と多い。

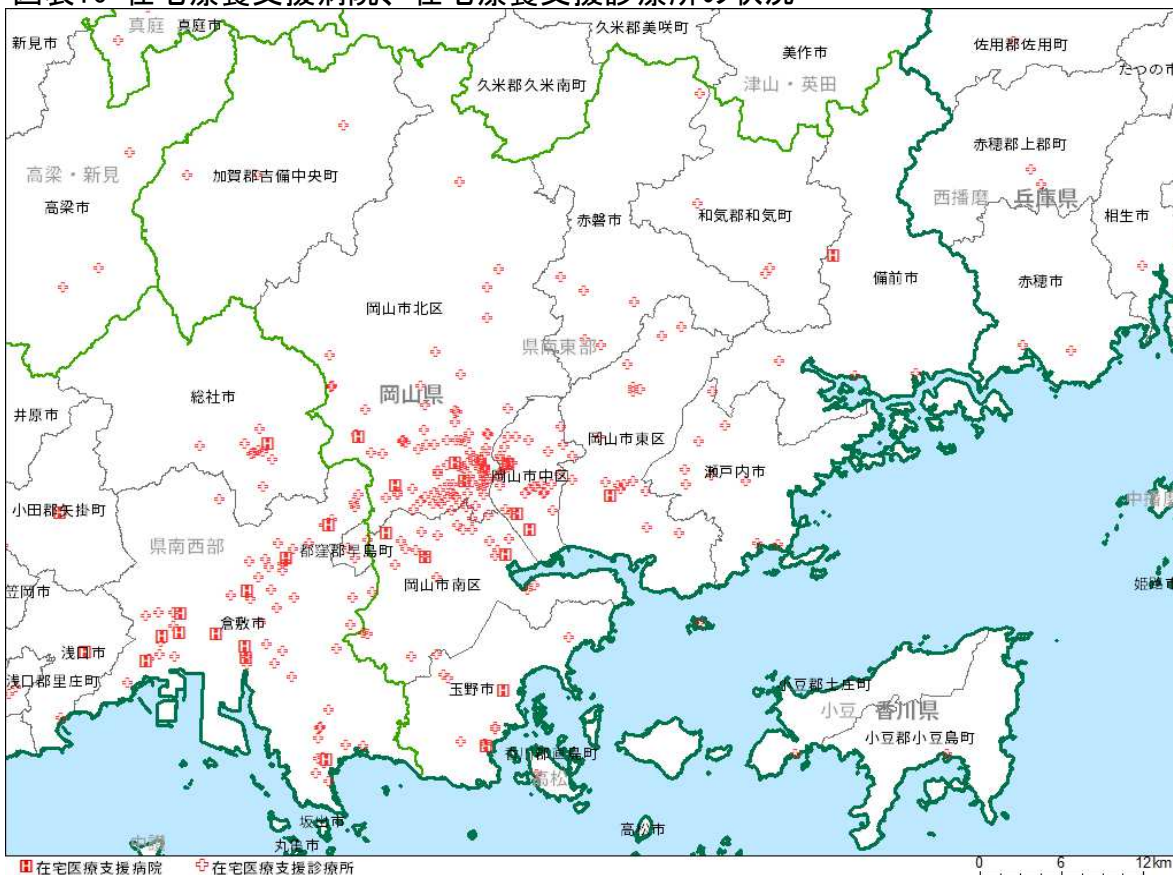
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
県南東部	15	39.5%	0.1	56	191	62.0%	1.6	66

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
県南東部	605	46.3%	65.6	50	890	43.8%	96.5	57

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



県南東部

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値48と全国平均レベル、訪問看護が偏差値48と全国平均レベル、通所介護が偏差値60と多い。通所リハが偏差値58と多く、訪問入浴が偏差値43と少なく、短期入所が偏差値59と多く、居宅介護支援が偏差値51と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値47とやや少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値46と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値47と全国平均レベルをやや下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
県南東部	233	52.2%	1.9	48	77	49.0%	0.6	48	449	50.7%	3.7	60

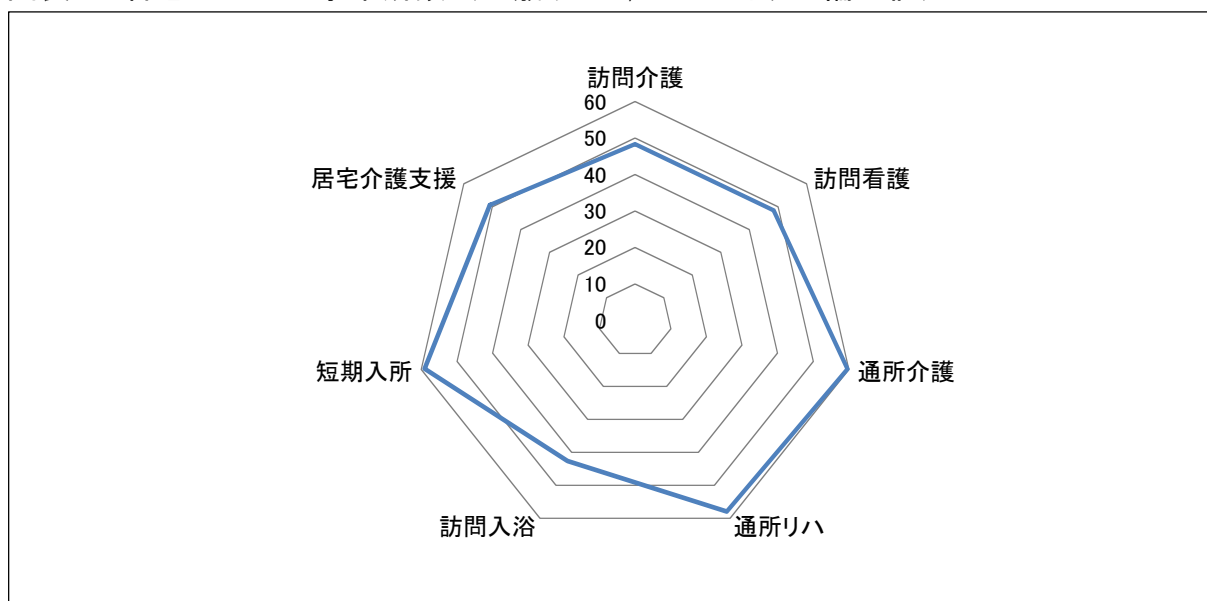
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
県南東部	76	45.0%	0.6	58	6	33.3%	0.0	43	105	47.9%	0.9	59

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
県南東部	305	48.9%	2.5	51

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
県南東部	8,062	55.4%	67.0	47	1,331	53.7%	11.1	46	340	47.7%	2.8	47

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



県南西部

■ 人口動態と要介護者の現状

県南西部は、人口707,450人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は202,120人、高齢化率(65歳以上人口割合)は29%とやや高い。

要介護数(認定者)は28,342人、要介護認定率は14%とやや高い。うち要介護3以上は13,342人、要介護者数に占める割合は47%とやや低い。

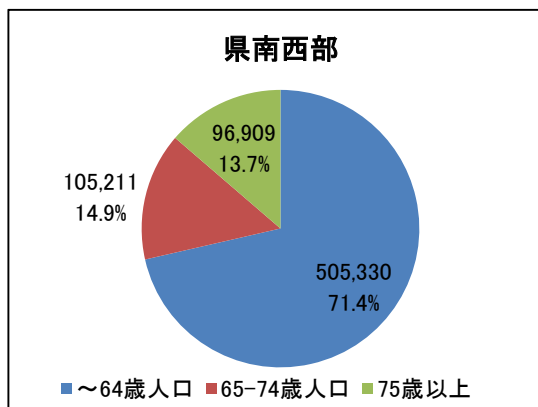
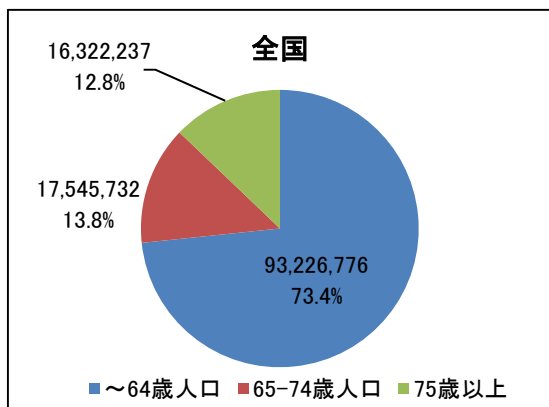
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
県南西部	707,450	202,120	96,909	29%	54	95,323	38%	30%

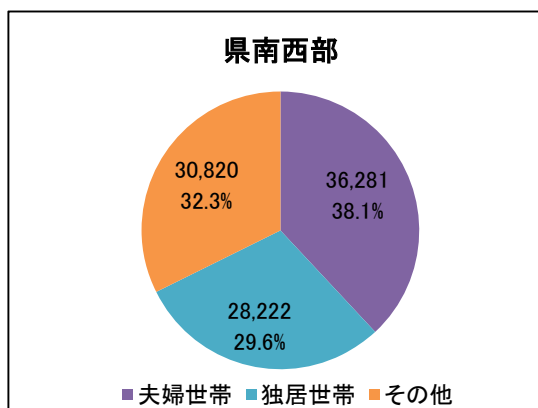
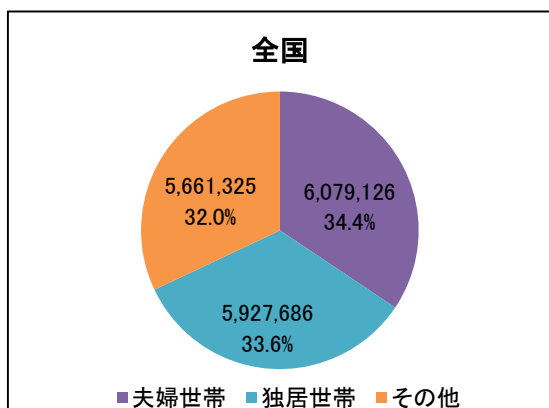
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
県南西部	28,342	14%	53	13,342	47%	47

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



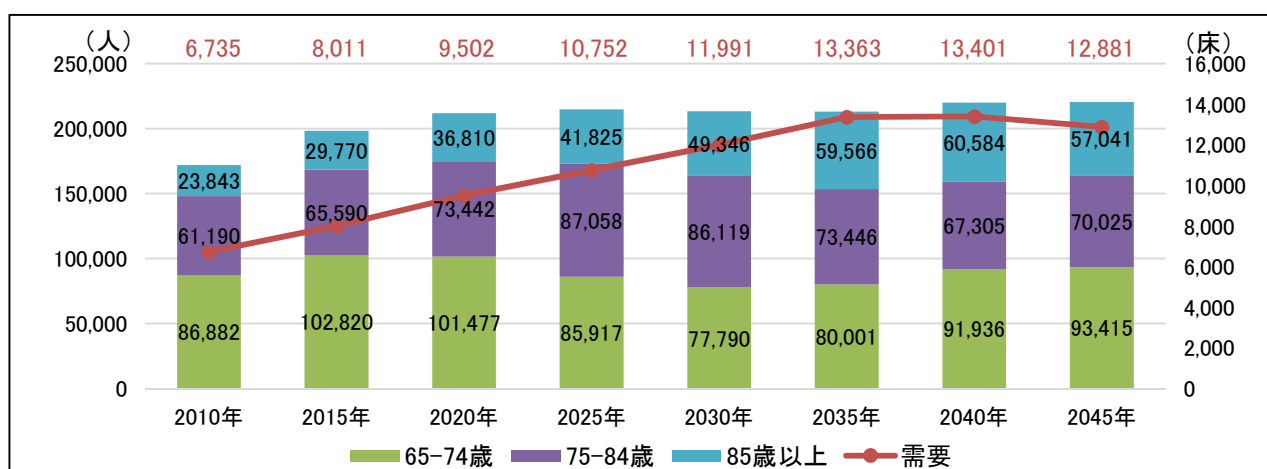
県南西部

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、県南西部の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が95,360(65,590+29,770)人であるが、ピーク時の2030年には135,465人まで増加すると推計され、2015年比42%増加する。

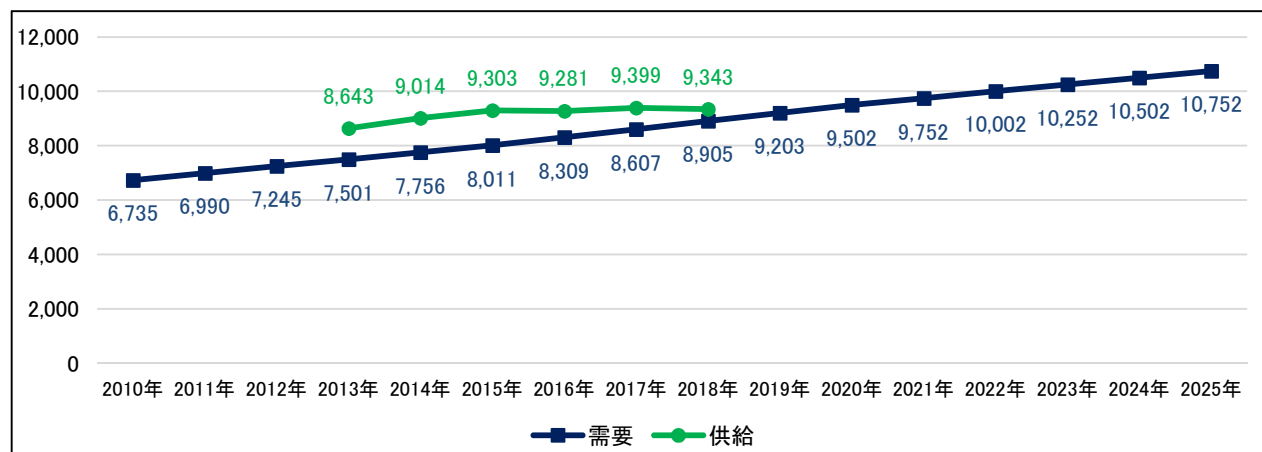
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、県南西部の施設需要のピークは2040年の13,401人であり、2015年の8,011人と比べ、67%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、県南西部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要7,756人、供給9,014人と「供給>需要(+16%)」である。2018年は需要8,905人、供給9,343人と「供給>需要(+5%)」である。県南西部の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の余裕のある状況から、2018年の需要と供給が拮抗する状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



県南西部

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,702人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が6,001床(偏差値50)、高齢者住宅等が3,701床(偏差値57)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム51、軽費ホーム53、グループホーム62、サ高住(特定施設)48である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値60と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値54と全国平均レベルをやや上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
県南西部	9,702	34.9%	100	56	6,001	33.2%	62	50	3,701	38.1%	38	57

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
県南西部	2,410	36.7%	25	54	3,229	29.7%	33	48	362	58.3%	3.7	50

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
県南西部	1,558	43.8%	16.1	51	190	20.1%	2.0	53	1,851	36.6%	19.1	62

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

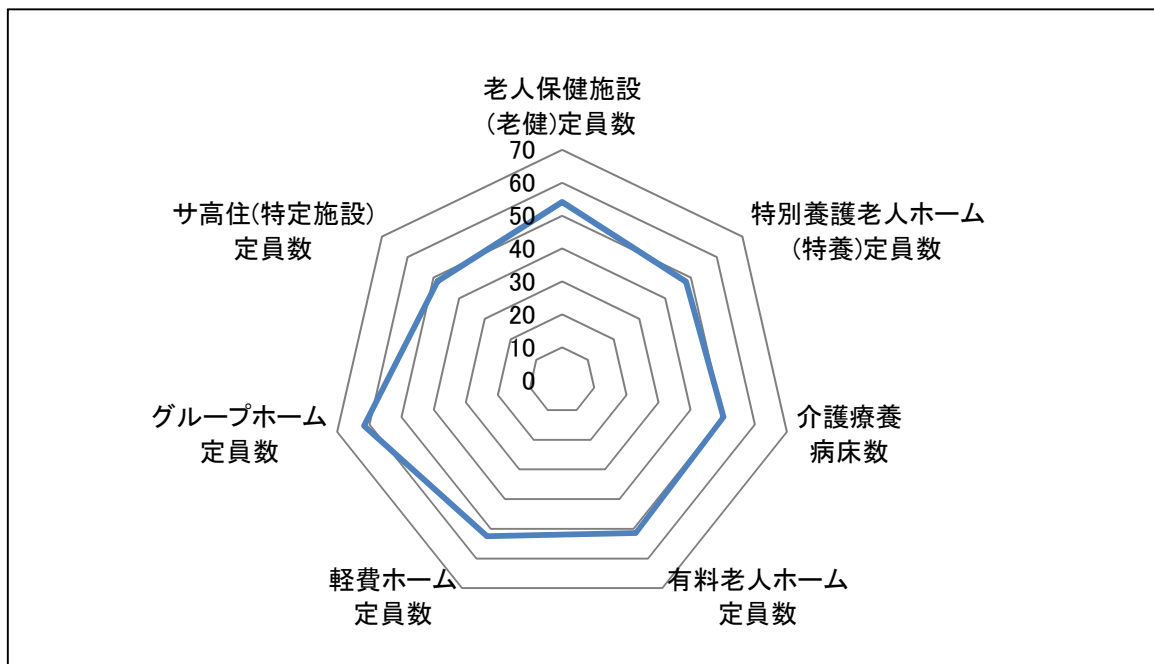
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
県南西部	102	69.4%	1.1	48	209,785		12.9	(6.8)
					877	27.6%	9.0	44

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

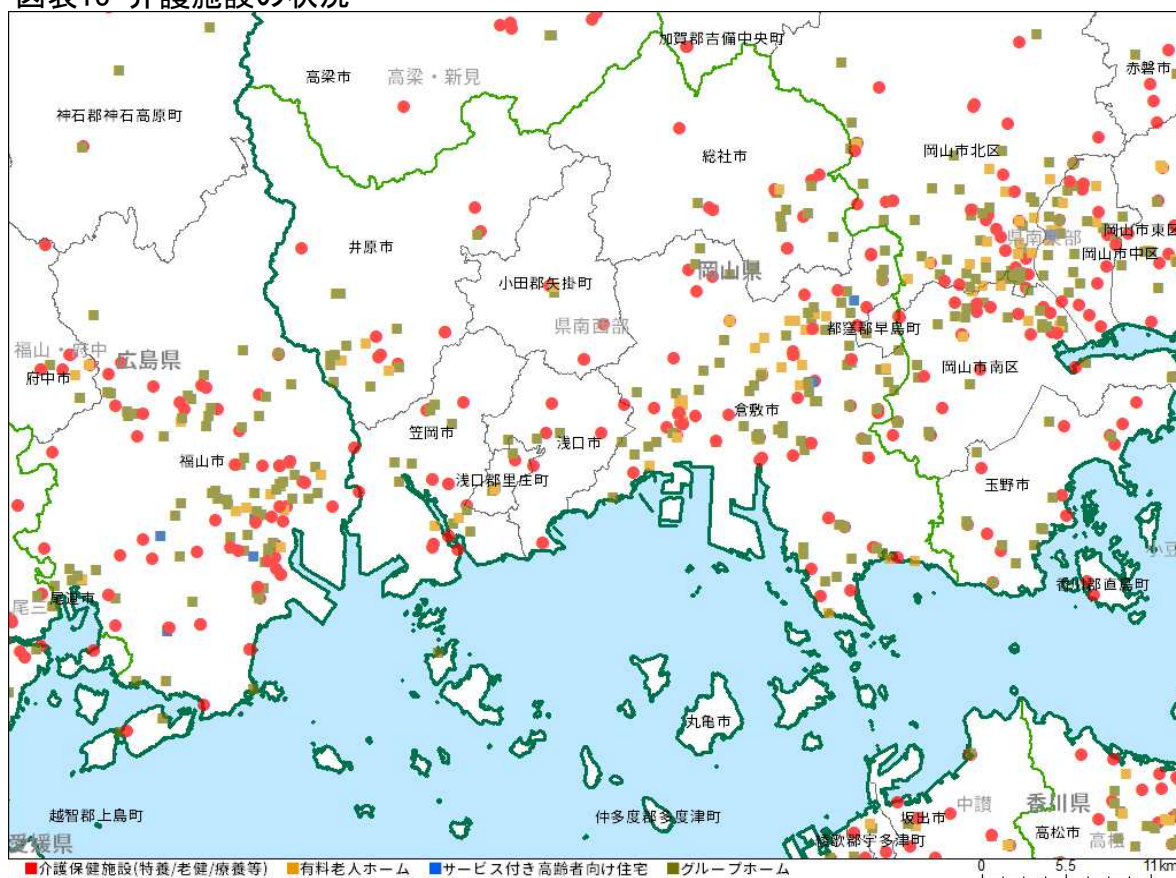
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
県南西部	8,676	33.6%	90	60	793	35.1%	8.2	54

県南西部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



県南西部

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値64と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値47とやや少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値55とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値58と多い。

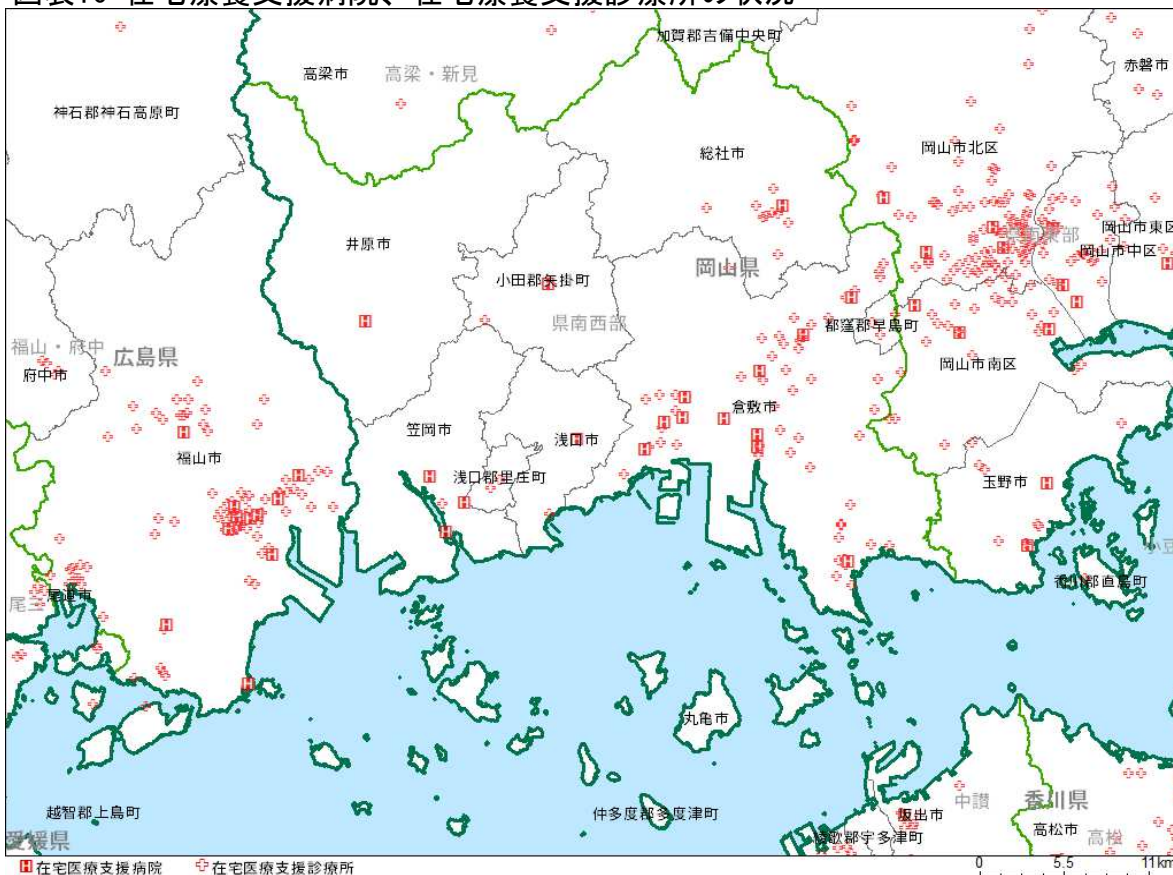
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
県南西部	18	47.4%	0.2	64	72	23.4%	0.7	47

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
県南西部	602	46.1%	85.1	55	732	36.0%	103.5	58

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



県南西部

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値43と少なく、訪問看護が偏差値41と少なく、通所介護が偏差値51と全国平均レベルである。通所リハが偏差値57と多く、訪問入浴が偏差値45とやや少なく、短期入所が偏差値51と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値39と少ない。訪問介護利用者数は偏差値38と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値40と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値45と全国平均レベルをやや下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
県南西部	145	32.5%	1.5	43	47	29.9%	0.5	41	276	31.2%	2.8	51

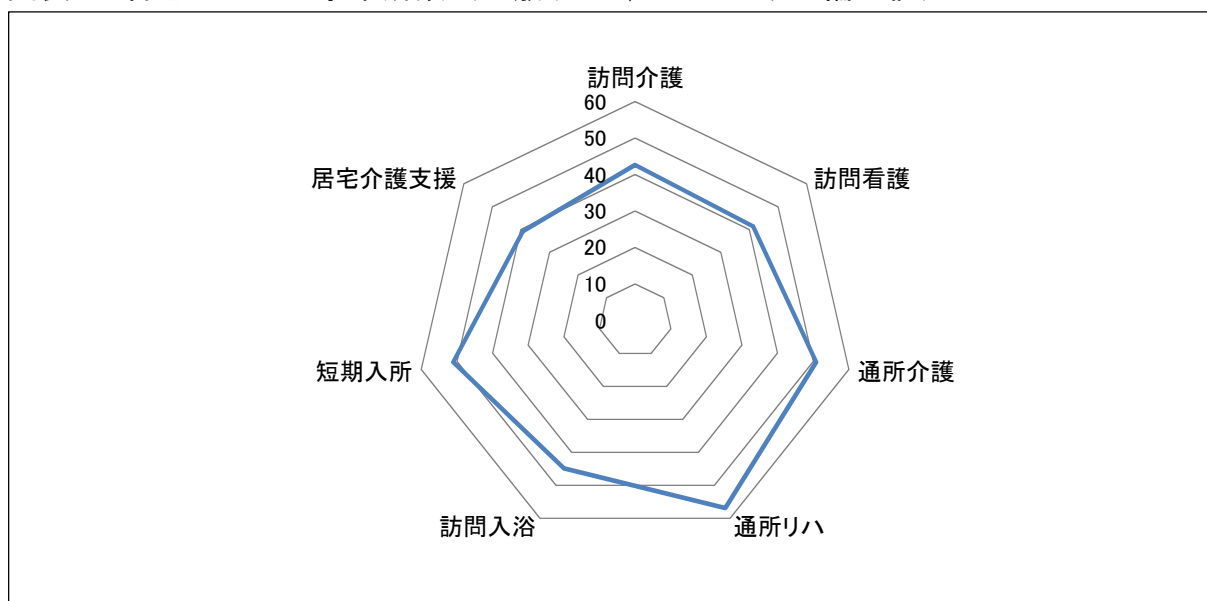
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
県南西部	59	34.9%	0.6	57	7	38.9%	0.1	45	65	29.7%	0.7	51

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
県南西部	182	29.2%	1.9	39

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
県南西部	4,252	29.2%	43.9	38	796	32.1%	8.2	40	251	35.2%	2.6	45

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



高梁・新見

■ 人口動態と要介護者の現状

高梁・新見は、人口62,733人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は24,292人、高齢化率(65歳以上人口割合)は39%と非常に高い。

要介護数(認定者)は4,387人、要介護認定率は18%と非常に高い。うち要介護3以上は2,174人、要介護者数に占める割合は50%とやや高い。

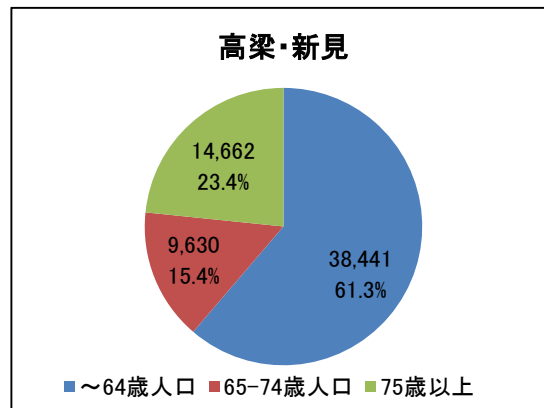
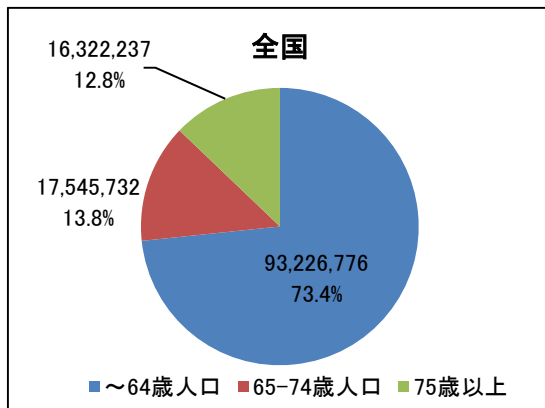
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
高梁・新見	62,733	24,292	14,662	39%	74	10,592	37%	36%

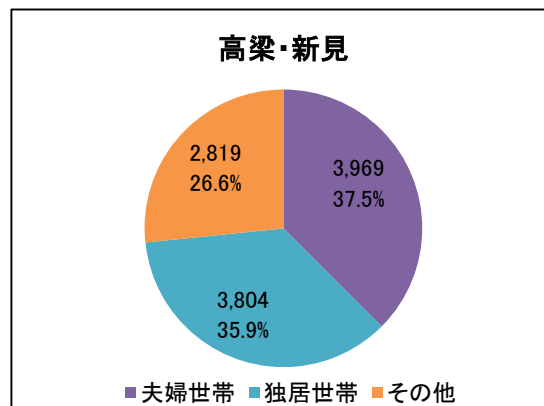
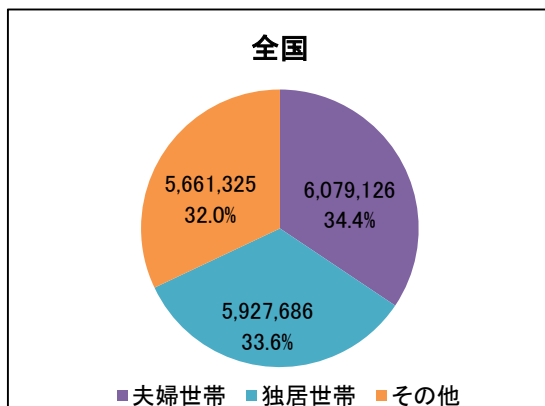
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
高梁・新見	4,387	18%	76	2,174	50%	54

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



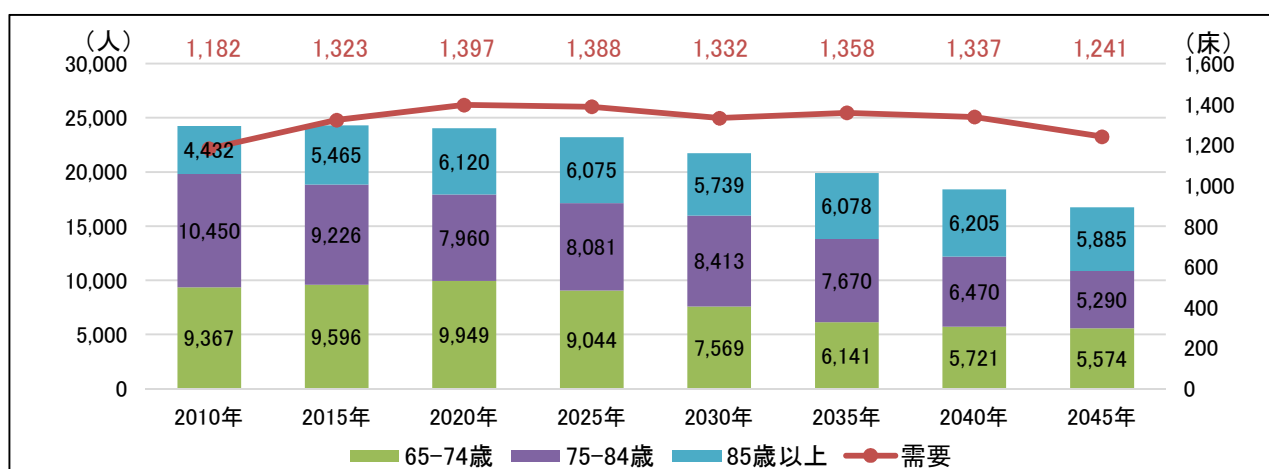
高粱・新見

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、高粱・新見の65歳以上人口のピークは2015年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が14,691(9,226+5,465)人であるが、ピーク時の2010年の14,882人から1%減少した。

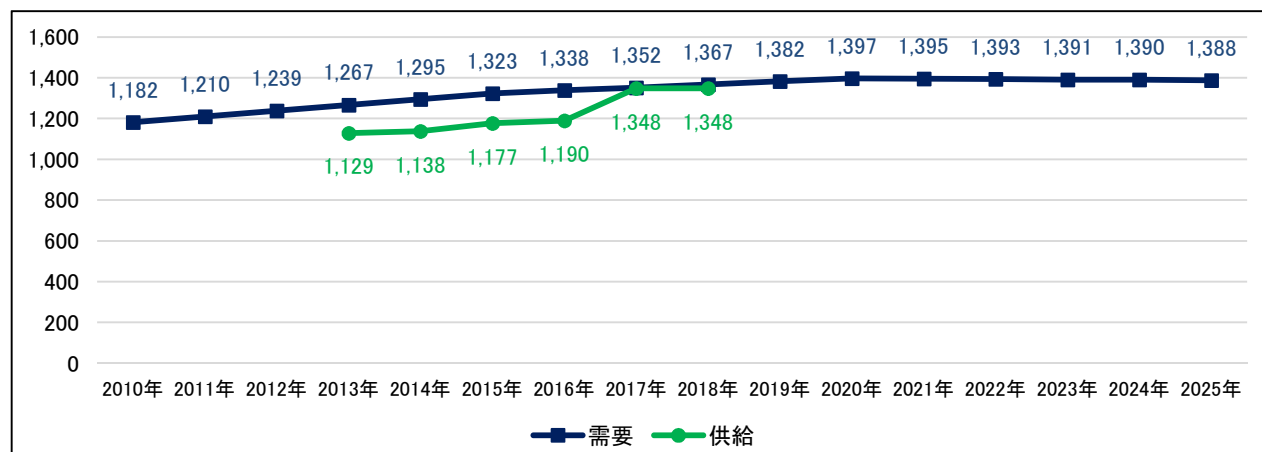
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、高粱・新見の施設需要のピークは2020年の1,397人であり、2015年の1,323人と比べ、6%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、高粱・新見の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,295人、供給1,138人と「供給<需要(-12%)」である。2018年は需要1,367人、供給1,348人と「供給<需要(-1%)」である。高粱・新見の高齢者施設の供給は、2014年の不足ぎみの状況から、2018年の需要と供給が拮抗する状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



高粱・新見

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,352人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,096床(偏差値61)、高齢者住宅等が256床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム38、軽費ホーム53、グループホーム52、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値64と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値48と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
高粱・新見	1,352	4.9%	92	51	1,096	6.1%	75	61	256	2.6%	17	40

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
高粱・新見	320	4.9%	22	49	744	6.8%	51	66	32	5.2%	2.2	46

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
高粱・新見	28	0.8%	1.9	38	30	3.2%	2.0	53	198	3.9%	13.5	52

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

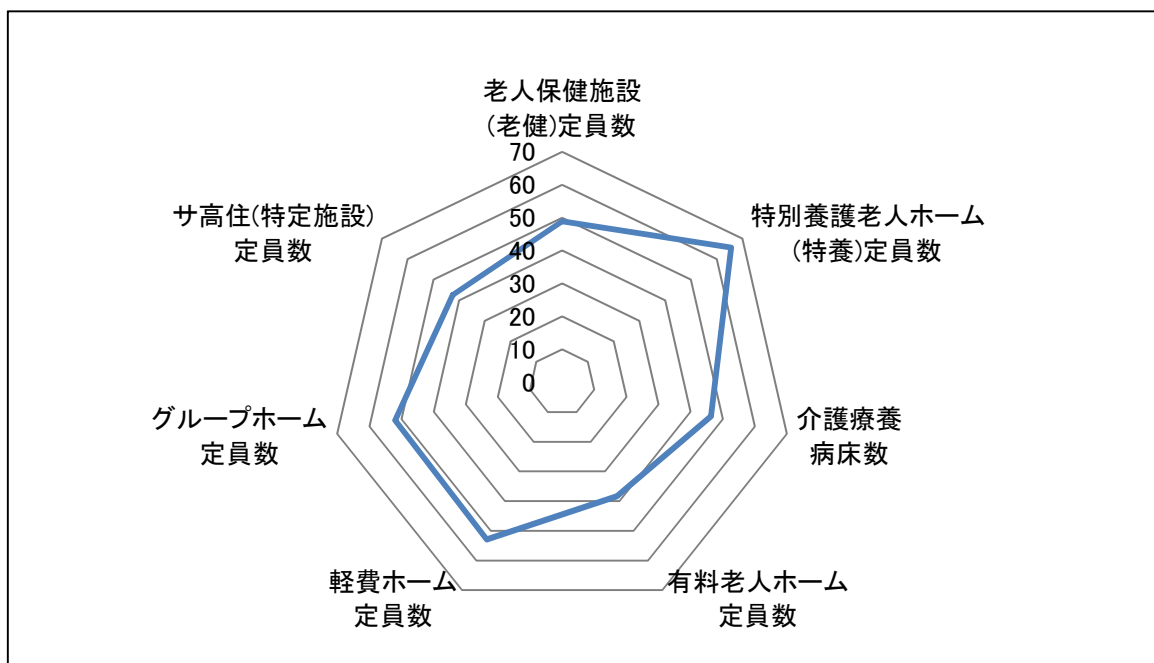
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
高粱・新見	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					0	0.0%	0	31

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

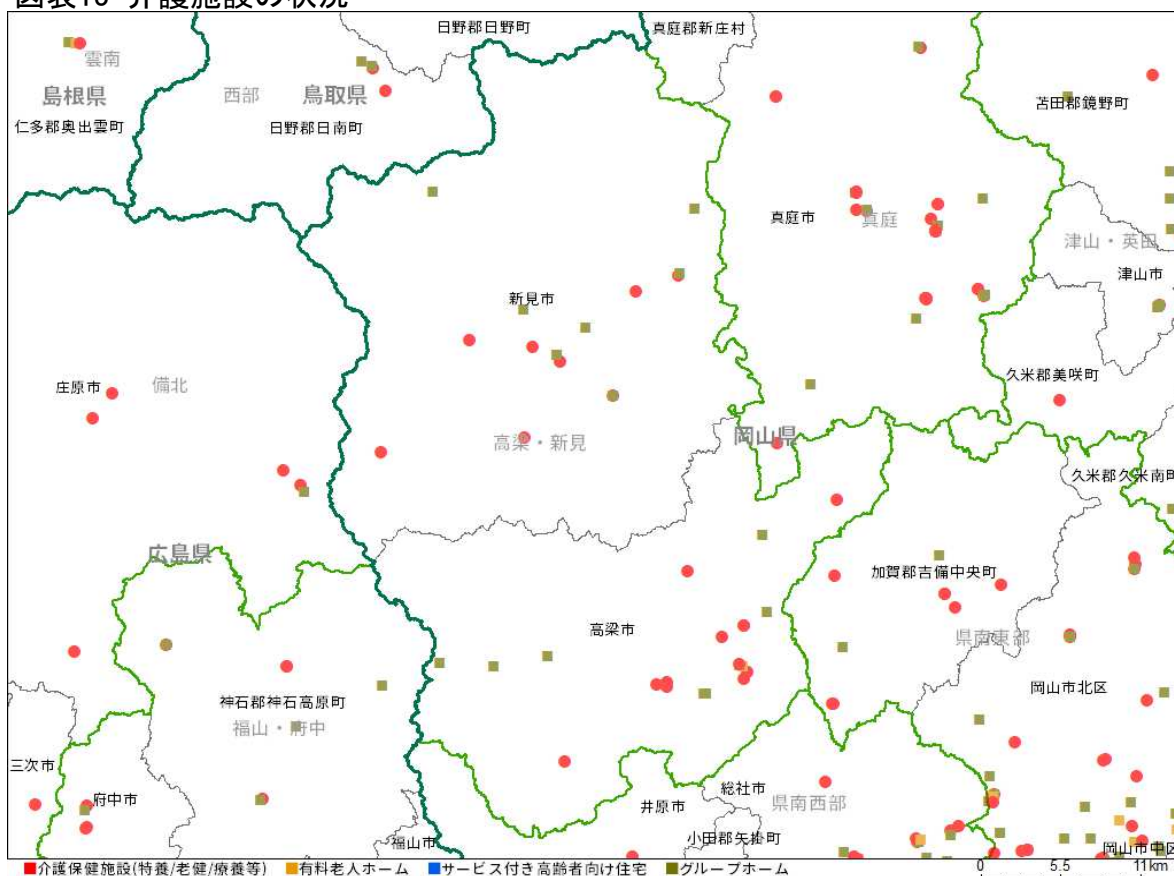
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
高粱・新見	1,384	5.4%	94	64	103	4.5%	7.0	48

高梁・新見

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



高梁・新見

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院はなし(偏差値38)である。在宅療養支援診療所数は偏差値39と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値360である。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値72と非常に多い。

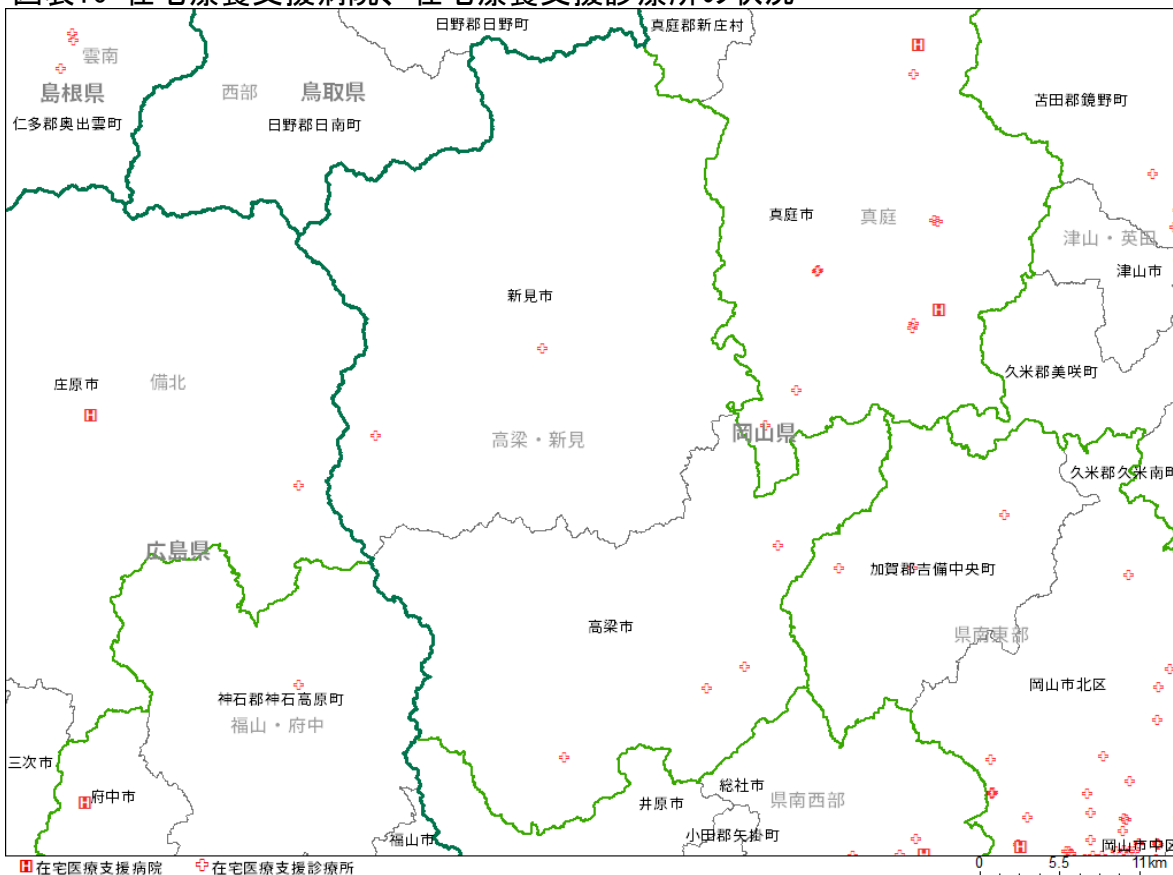
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
高梁・新見	0	0.0%	0	38	6	1.9%	0.4	39

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
高梁・新見	0	0.0%	0	36	115	5.7%	183.3	72

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



高梁・新見

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値37と少なく、訪問看護が偏差値38と少なく、通所介護が偏差値44と少ない。通所リハが偏差値57と多く、訪問入浴が偏差値44と少なく、短期入所が偏差値60と多く、居宅介護支援が偏差値37と少ない。訪問介護利用者数は偏差値33と非常に少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値33と全国平均レベルを大きく下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値38と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
高梁・新見	15	3.4%	1.0	37	6	3.8%	0.4	38	32	3.6%	2.2	44

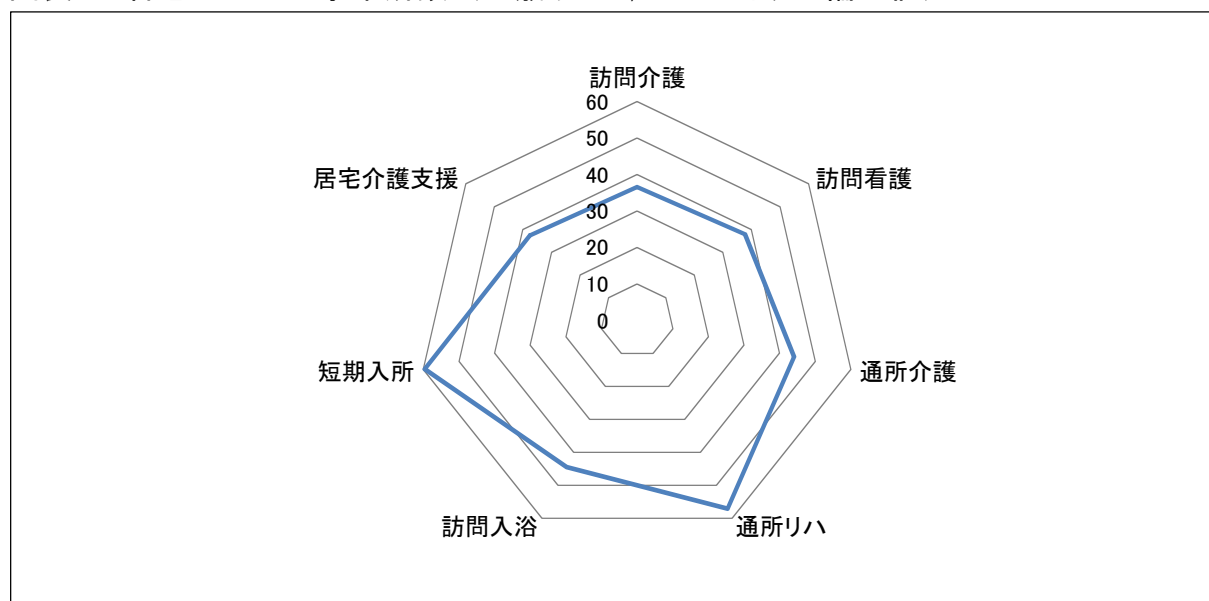
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
高梁・新見	9	5.3%	0.6	57	1	5.6%	0.1	44	13	5.9%	0.9	60

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
高梁・新見	26	4.2%	1.8	37

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
高梁・新見	425	2.9%	29.0	33	61	2.5%	4.1	33	27	3.8%	1.8	38

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



真庭

■ 人口動態と要介護者の現状

真庭は、人口46,990人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は17,300人、高齢化率(65歳以上人口割合)は37%と非常に高い。

要介護数(認定者)は2,683人、要介護認定率は16%と高い。うち要介護3以上は1,355人、要介護者数に占める割合は51%と高い。

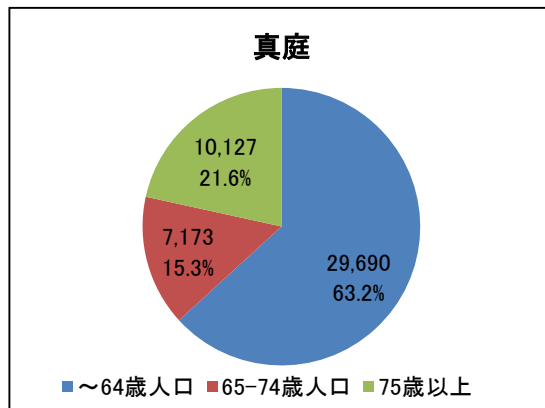
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
真庭	46,990	17,300	10,127	37%	70	6,791	36%	33%

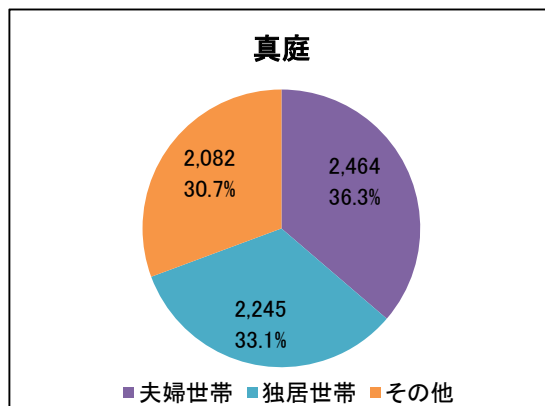
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
真庭	2,683	16%	61	1,355	51%	57

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



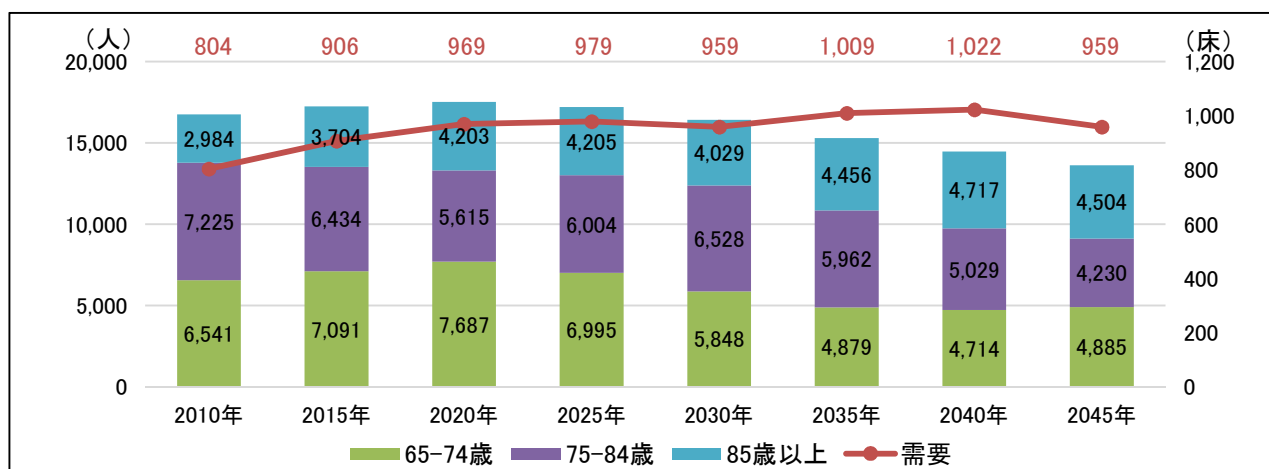
真庭

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、真庭の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が10,138(6,434+3,704)人であるが、ピーク時の2030年には10,557人まで増加すると推計され、2015年比4%増加する。

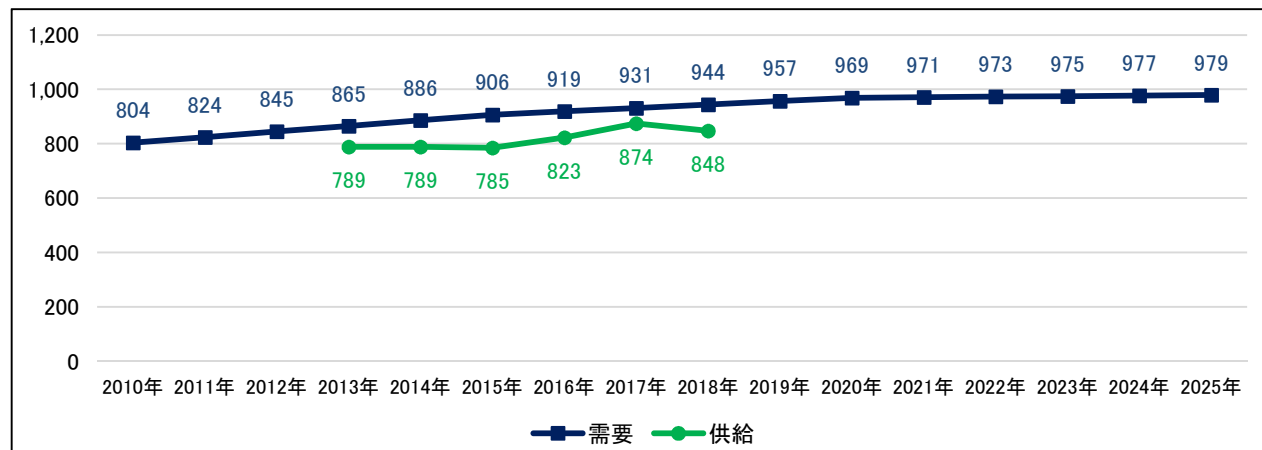
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、真庭の施設需要のピークは2040年の1,022人であり、2015年の906人と比べ、13%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、真庭の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要886人、供給789人と「供給<需要(-11%)」である。2018年は需要944人、供給848人と「供給<需要(-10%)」である。真庭の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、不足ぎみの状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



真庭

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、984人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が780床(偏差値63)、高齢者住宅等が204床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設44、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム71、グループホーム53、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値61と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値68と全国平均レベルを大きく上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
真庭	984	3.5%	97	54	780	4.3%	77	63	204	2.1%	20	42

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
真庭	220	3.3%	22	49	549	5.0%	54	69	11	1.8%	1.1	44

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
真庭	0	0.0%	0	37	60	6.3%	5.9	71	144	2.8%	14.2	53

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

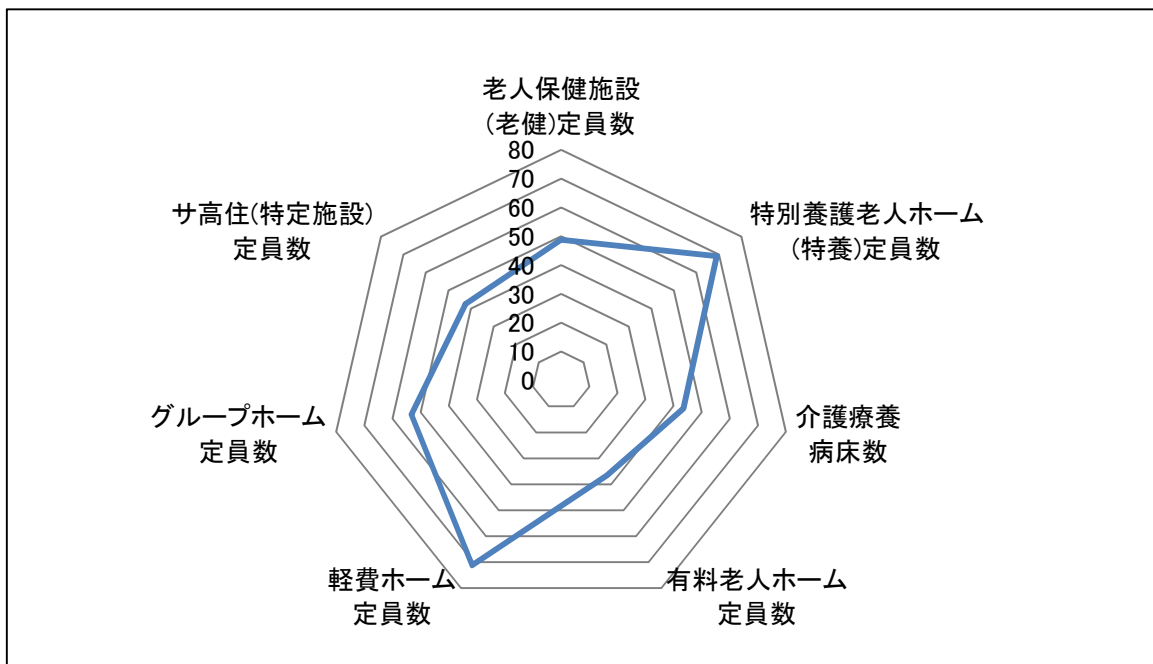
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
真庭	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					0	0.0%	0	31

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

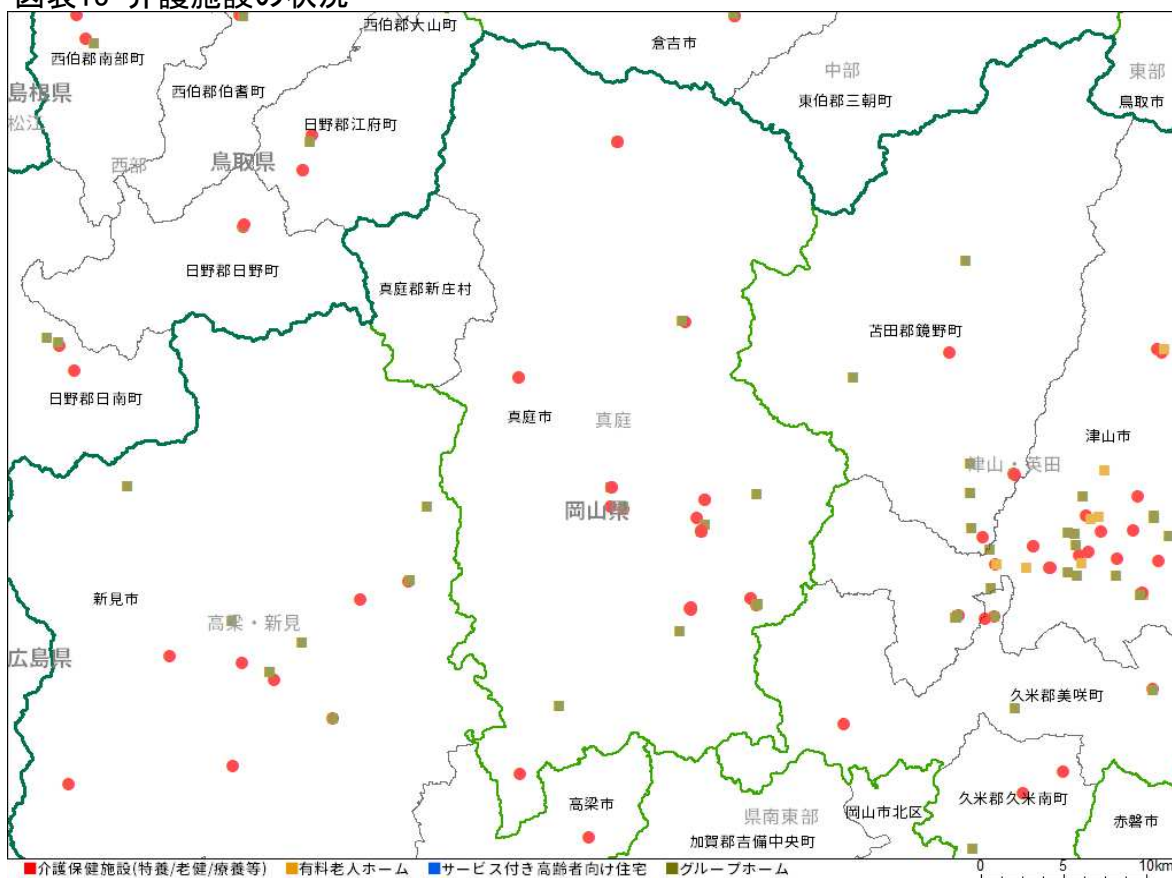
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
真庭	920	3.6%	91	61	111	4.9%	11.0	68

真庭

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



真庭

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値66と非常に多い。在宅療養支援診療所数は偏差値53とやや多い。

人口当たり回復期病床は偏差値360である。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値85と非常に多い。

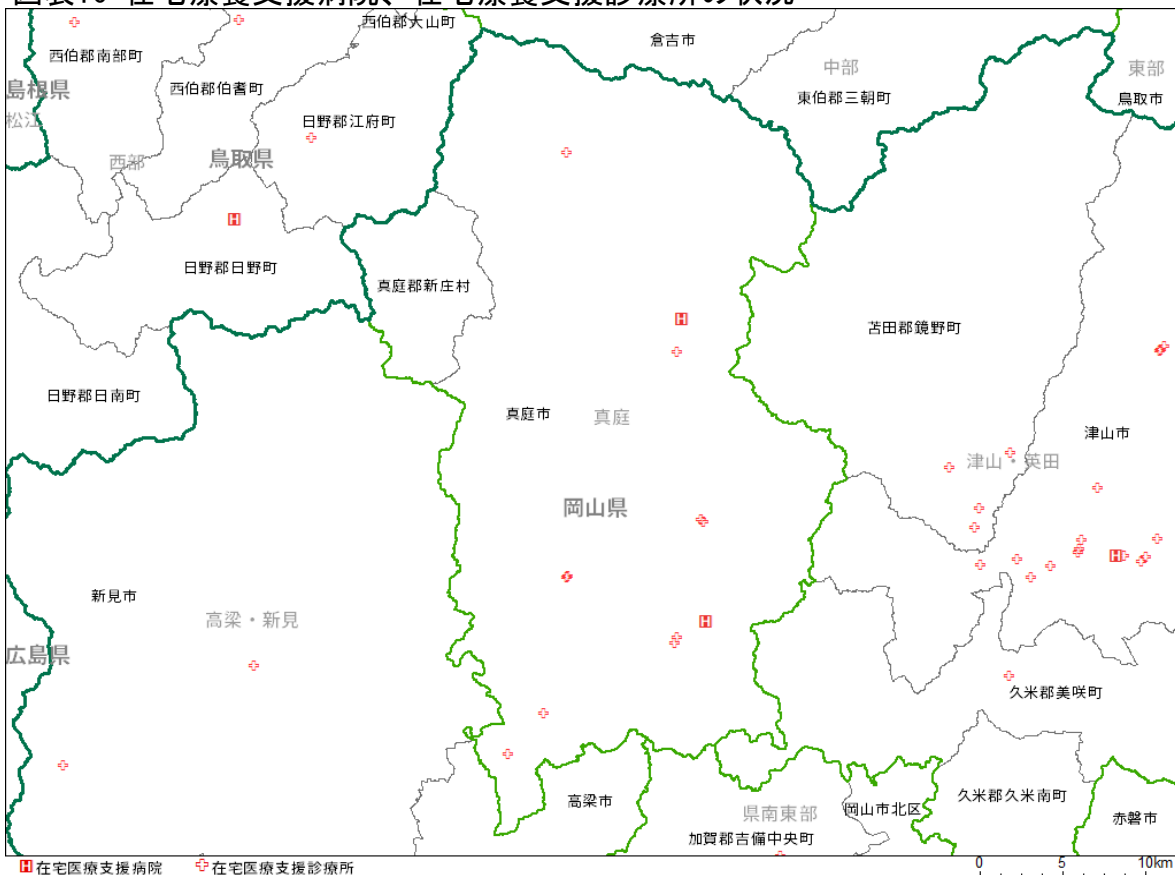
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
真庭	2	5.3%	0.2	66	10	3.2%	1.0	53

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
真庭	0	0.0%	0	36	121	6.0%	257.5	85

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



真庭

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値32と非常に少なく、訪問看護が偏差値64と多く、通所介護が偏差値47とやや少ない。通所リハが偏差値56と多く、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値64と多く、居宅介護支援が偏差値48と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値31と非常に少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値34と全国平均レベルを大きく下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値51と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
真庭	7	1.6%	0.7	32	10	6.4%	1.0	64	25	2.8%	2.5	47

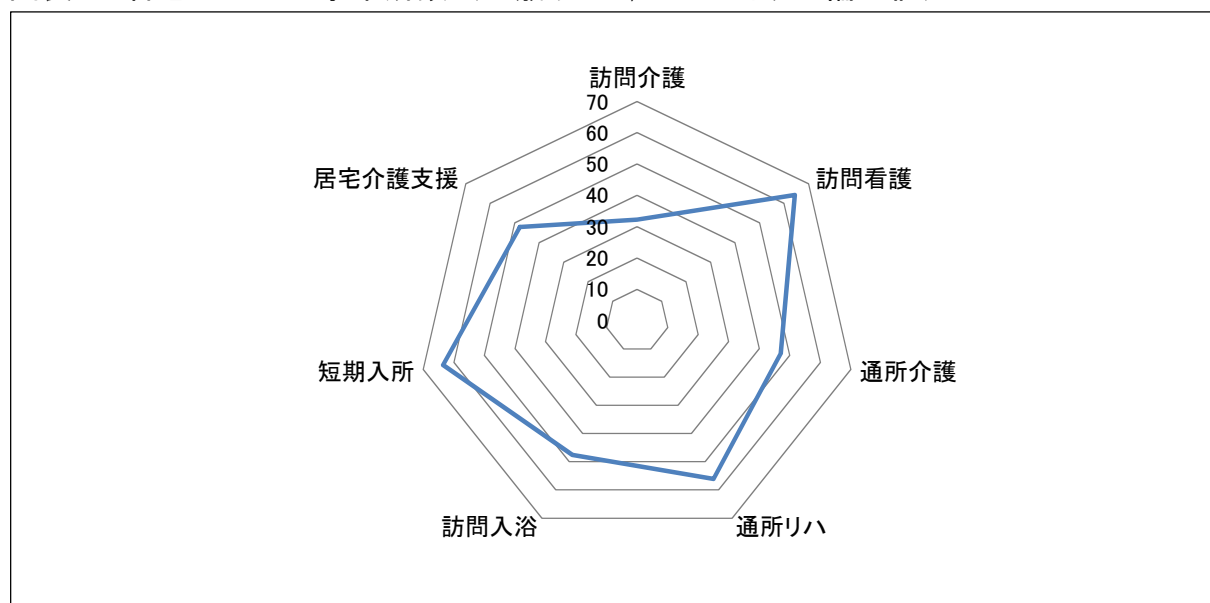
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
真庭	6	3.6%	0.6	56	1	5.6%	0.1	48	10	4.6%	1.0	64

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
真庭	24	3.8%	2.4	48

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
真庭	237	1.6%	23.4	31	44	1.8%	4.4	34	33	4.7%	3.3	51

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



津山・英田

■ 人口動態と要介護者の現状

津山・英田は、人口182,412人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は58,961人、高齢化率(65歳以上人口割合)は32%と高い。

要介護数(認定者)は9,677人、要介護認定率は16%と非常に高い。うち要介護3以上は4,855人、要介護者数に占める割合は50%と高い。

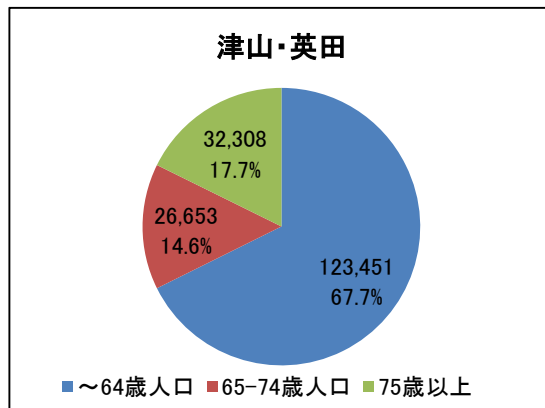
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
津山・英田	182,412	58,961	32,308	32%	61	26,825	36%	35%

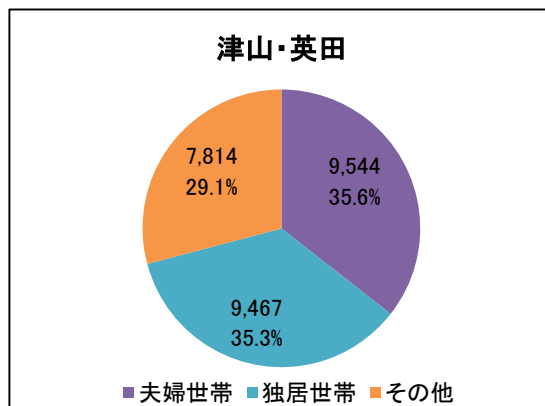
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
津山・英田	9,677	16%	66	4,855	50%	56

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



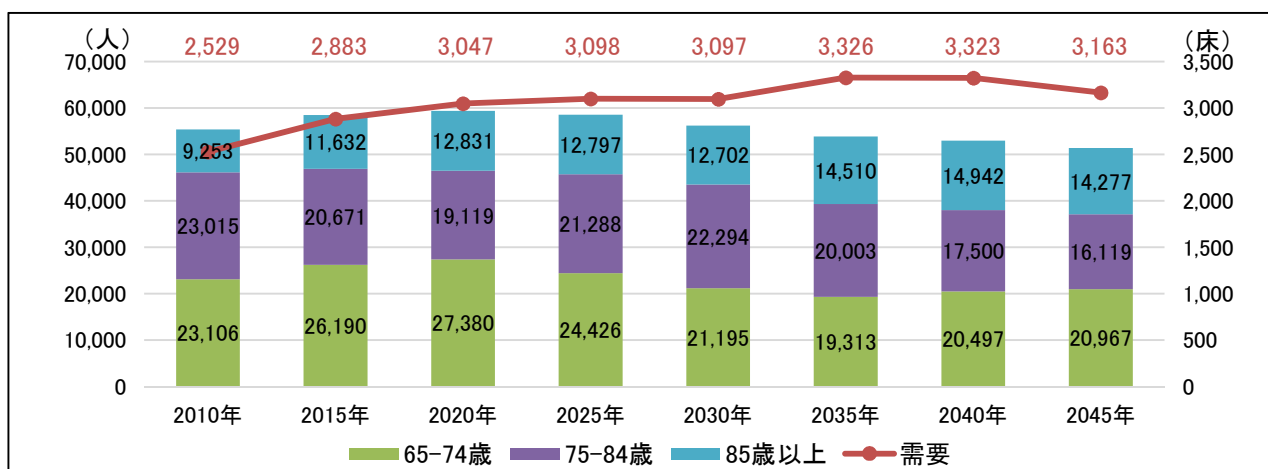
津山・英田

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、津山・英田の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が32,303(20,671+11,632)人であるが、ピーク時の2030年には34,996人まで増加すると推計され、2015年比8%増加する。

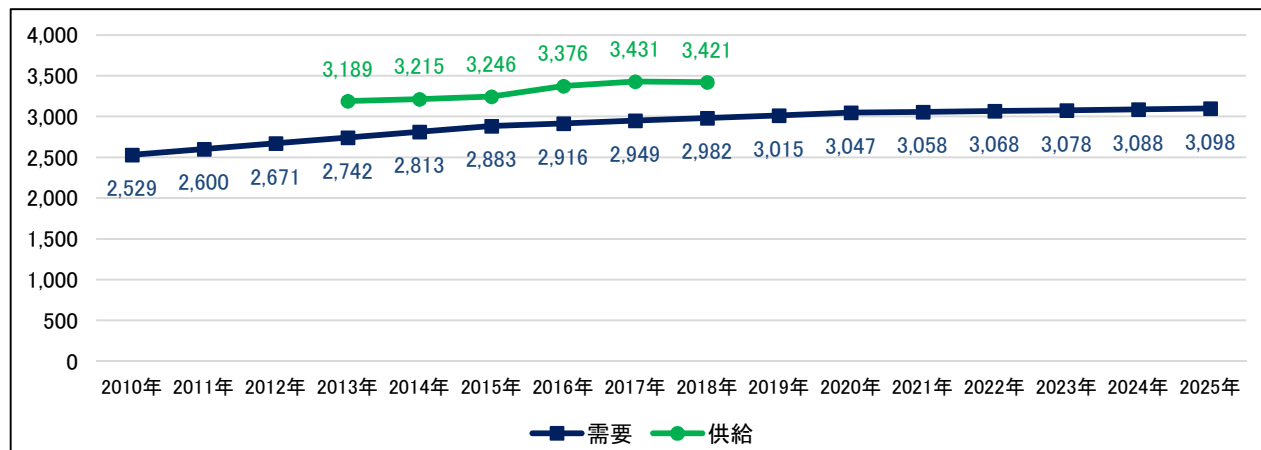
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、津山・英田の施設需要のピークは2035年の3,326人であり、2015年の2,883人と比べ、15%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、津山・英田の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要2,813人、供給3,215人と「供給>需要(+14%)」である。2018年は需要2,982人、供給3,421人と「供給>需要(+15%)」である。津山・英田の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、やや余裕がある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



津山・英田

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,489人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,334床(偏差値59)、高齢者住宅等が1,155床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム44、軽費ホーム74、グループホーム64、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値67と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値63と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
津山・英田	3,489	12.6%	108	61	2,334	12.9%	72	59	1,155	11.9%	36	55

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
津山・英田	686	10.4%	21	48	1,536	14.1%	48	62	112	18.0%	3.5	50

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
津山・英田	276	7.8%	8.5	44	213	22.5%	6.6	74	666	13.2%	20.6	64

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

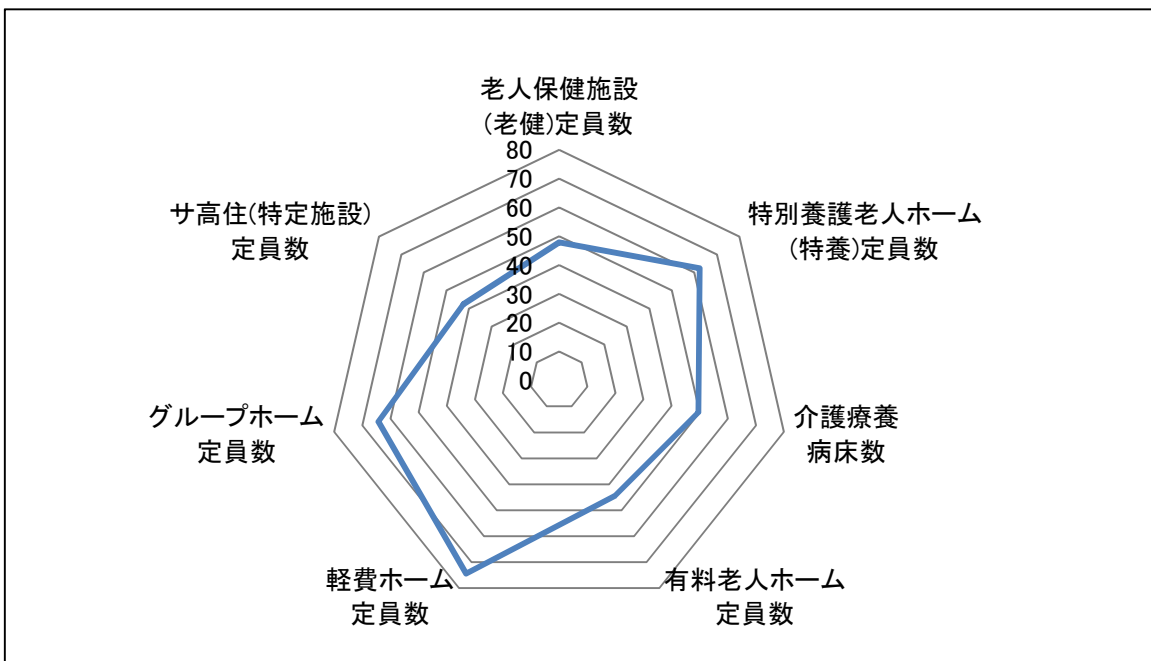
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
津山・英田	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					231	7.3%	7.1	42

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

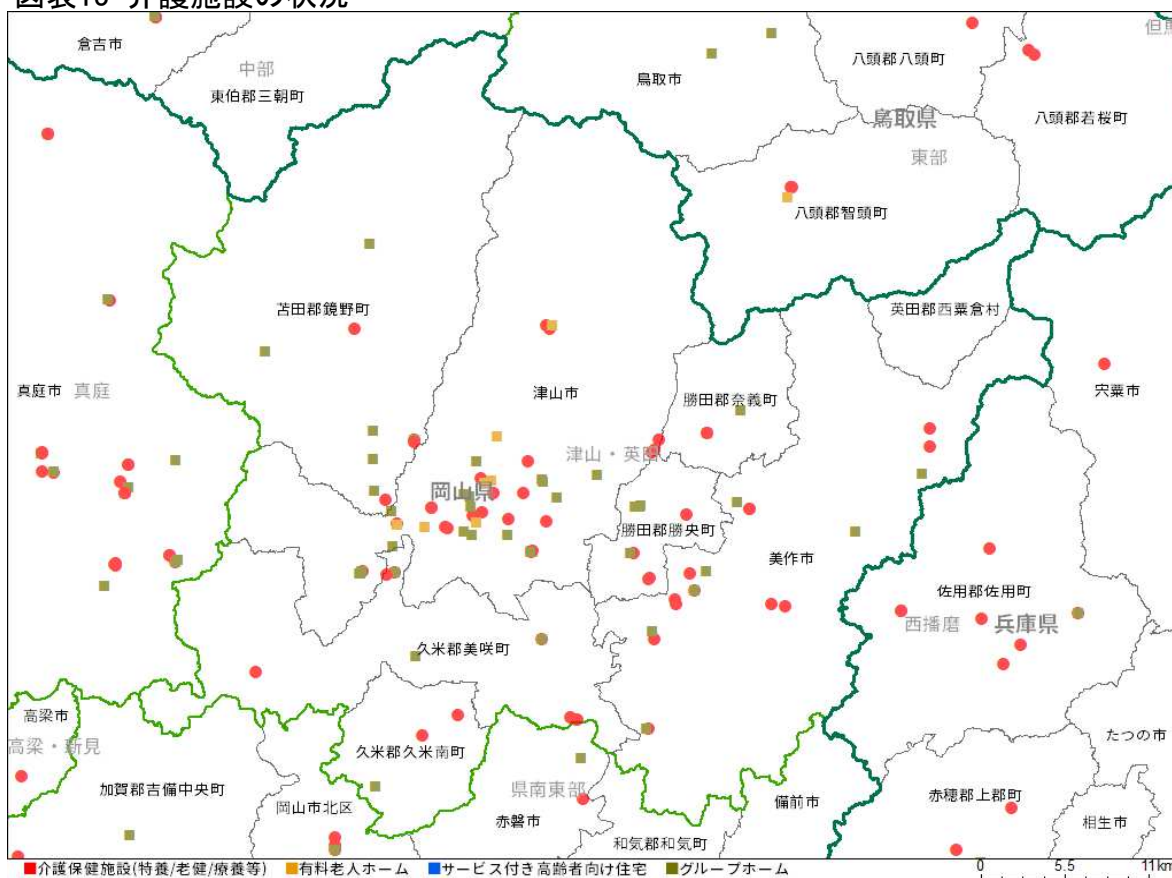
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
津山・英田	3,161	12.3%	98	67	320	14.2%	9.9	63

津山・英田

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



津山・英田

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値51と全国平均レベルである。

人口当たり回復期病床は偏差値48と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値57と多い。

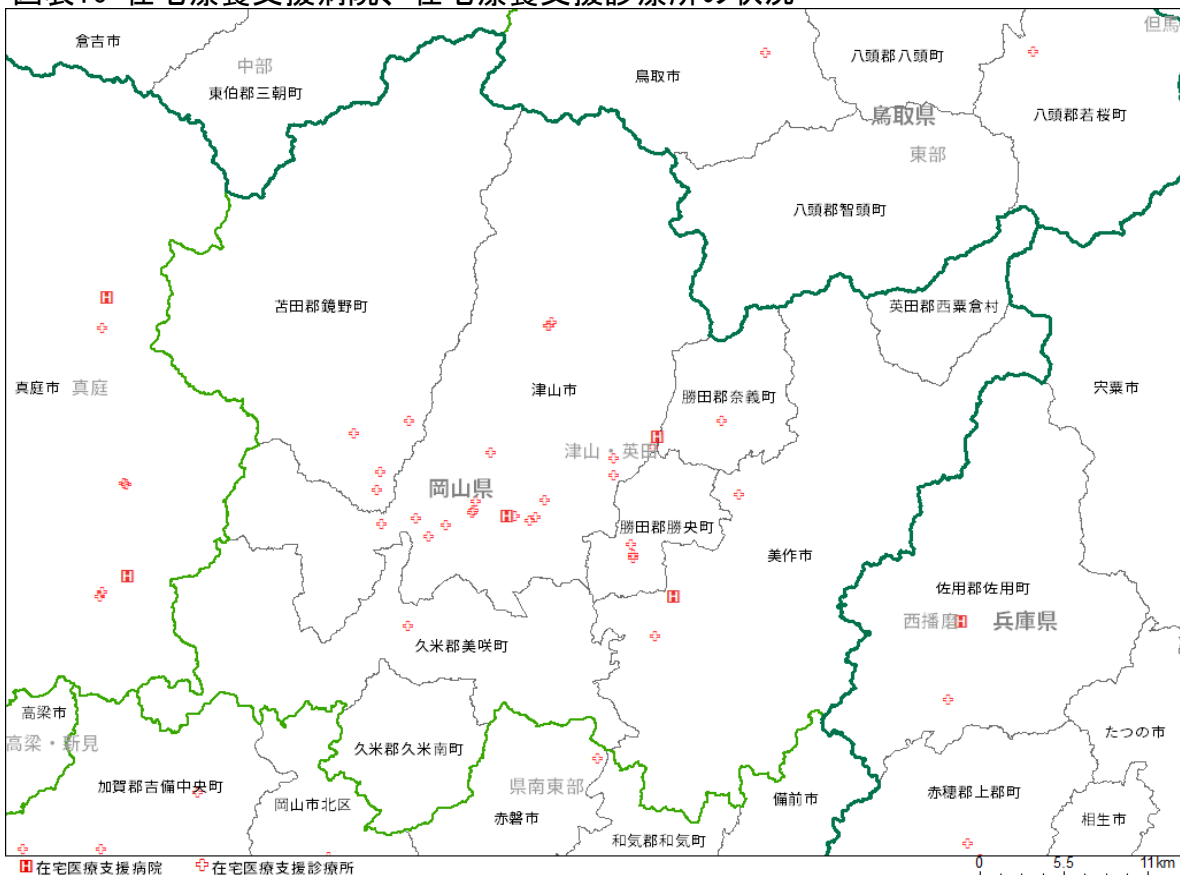
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
津山・英田	3	7.9%	0.1	51	29	9.4%	0.9	51

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
津山・英田	99	7.6%	54.3	48	174	8.6%	95.4	57

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



津山・英田

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値42と少なく、訪問看護が偏差値43と少なく、通所介護が偏差値54とやや多い。通所リハが偏差値56と多く、訪問入浴が偏差値47とやや少なく、短期入所が偏差値56と多く、居宅介護支援が偏差値54とやや多い。訪問介護利用者数は偏差値40と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値39と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値38と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
津山・英田	46	10.3%	1.4	42	17	10.8%	0.5	43	103	11.6%	3.2	54

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
津山・英田	19	11.2%	0.6	56	3	16.7%	0.1	47	26	11.9%	0.8	56

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
津山・英田	87	13.9%	2.7	54

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
津山・英田	1,565	10.8%	48.4	40	248	10.0%	7.7	39	62	8.7%	1.9	38

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）

